

# J·O·U·R·N·A·L

Vol.8 No.3 1999(通巻132号)

目 次

会 告	第15回(社)静岡県放射線技師会通常総会の開催について	1
	第4回静岡県放射線技師学術大会 演題募集	2
	静岡県健康福祉部委託 肺がん検診従事者講習会	3
	技師長等管理者研修会の開催について	4
	第15回超音波部会研修会の開催について	5
巻 頭 言	(社)静岡県技師会波瀾万丈の50年 … 副会長 庄 賢治	9
	50周年記念講演、記念式典、記念祝賀会	10
	平成10年度 災害緊急時対策研修会	13
部会報告	第7回MRI部会研修会「神経系MRIはどこまで分かるか」	14
	第14回超音波部会研修会「脳血管の超音波診断」	15
	身体にハンディのある方への胃及び超音波の無料検診	16
	平成10年度第2、3回放射線セミナー	17
	ISRRT世界大会に参加して	19
	しずおかの方言と生活	20
	日本のエネルギー事情と原子力発電所から出る使用済燃料について ～再処理工場の建設状況について～	23
	井熊信義会員 勲五等瑞宝章 下賜	26
	放射線機器固定実態調査の報告	28
	写真で綴る静岡県放射線技師会50年の歩み	45

# 会 告

## 第15回

## (社)静岡県放射線技師会通常総会の開催について

平成11年1月1日  
社団法人 静岡県放射線技師会  
会 長 吉 村 正 己

第15回(社)静岡県放射線技師会通常総会を定款第20条第1項に基づき下記のとおり開催致します。

記

### 【議 事】

第1号議案 平成11年度事業計画(案)

第2号議案 平成11年度予算(案)

第3号議案 その他

以上

2月に総会議案集、及び書面採決のハガキを送付します。

# 会 告

## 第4回

## 静岡県放射線技師学術大会 演題募集

平成11年5月29日（土）から30日（日）の2日間、藤枝市のエミナース（静岡国民年金健康センター）において、第16回（社）静岡県放射線技師会通常総会及び第4回静岡県放射線技師学術大会を開催いたします。

開催にあたり、本学術大会での研究発表演題を下記により募集いたしますので、多数の演題をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

### 記

- 【日 時】 平成11年5月29日（土）～30日（日）
- 【会 場】 エミナース（静岡国民年金健康センター）  
〒426-0077 藤枝市駿河台6丁目1番1号 ☎（054）645-1717
- 【発表形式】 ① 口述発表 発表時間 7分 討論 2分  
② 使用媒体 （1）35mmスライド 10枚以内……………1画面映像  
（2）ビデオ（SVHSまたはVHS）…1画面映像  
スライドとビデオの同時映写は不可、交互は可
- 【発表資格】 会員および賛助会員 但し、平成10年度会費完納者
- 【応募方法】 演題申込用紙に必要事項を記入し、次の諸事項を参考に提出してください。  
① 区分番号は演題区分表（別紙）の分類番号を記入してください。  
② 連絡先住所は後日、郵便、電話等が確実に届くように記入してください。
- 【締め切り】 平成11年2月18日（木）必着
- 【申 込 先】 〒420-0839  
静岡市鷹匠2丁目3-2  
サンシティー鷹匠601  
（社）静岡県放射線技師会

\*封書に朱書きで「演題申込書」と明記してください。

生涯教育のカウント数は発表演者4点 共同演者2点です。

# 会 告

## 静岡県健康福祉部委託 肺がん検診従事者講習会

年が明け初めての研修会となる「肺がん検診従事者講習会」を下記のとおり開催致します。  
新たなスタートをきるのにふさわしい内容となっておりますので、多くの会員が参加して  
くださいますようお願い申し上げます。

### 記

【日 時】 平成11年1月9日（土）13：40～15：20

【会 場】 静岡県医師会館 5F 大ホール  
〒420-0839 静岡市鷹匠3-6-3 ☎ (054) 246-6151

【主 催】 静岡県対がん協会  
(社) 静岡県放射線技師会

【後 援】 (社) 静岡県医師会

【内 容】 1) 主催者挨拶

2) 「肺癌検診のX線写真の読影上の注意事項」

名古屋市立大学 医学部 放射線医学教室 教授 大場 覚 先生

生涯教育のカウントは1点です。

# 会 告

## 技師長等管理者研修会の開催について

近年、医療における放射線の利用は目覚ましく進歩し、診療放射線技師の業務は放射線を利用した画像だけでなく超音波画像、MR画像などの総合画像を診療科に提供するとともに、精度の高い放射線治療技術の提供、放射線管理業務など専門的知識を持って放射線部門の管理運営を担っております。

また、高齢化社会の進行、在宅医療の普及等に伴い、患者居宅における放射線業務の必要性が高まっている現在、地域医療における放射線技師の役割については真剣に考えていかなければならない問題であります。

このように、放射線部門における技師長等管理者の抱える業務は、診療サイドの管理はもとより経営管理等の手腕も問われようとしております。

そこで、本会では技師長等管理者の方を対象に下記のような研修会を企画致しました。

つきましては、ご多忙中とは存じますが万障お繰り合わせの上、ご出席をくださいますようご案内申し上げます。

なお、事前登録とさせていただきますので、「施設名・氏名」を明記し技師会事務所までFAXにてお申し込みください。

### 記

- 【日 時】 平成11年1月21日(木) 午前10時から午後4時45分まで  
【会 場】 もくせい会館 第2会議室 〒420 静岡市鷹匠3-6-1 ☎(054) 245-1595  
【主 催】 社団法人 静岡県放射線技師会  
【会 議 費】 10,000円  
【内 容】  
10:00~11:00 「在宅医療における放射線技師の役割」  
愛知医科大学付属病院 中央放射線部 副技師長 高橋喜久彌 先生  
11:00~12:30 「リーダーとしての心構え・役割及びリーダーシップ」  
(株)アドホック医療経営センター 所長 深堀 幸次 先生  
13:30~15:00 「変革の時代 ~産業としての医療~」  
社団法人 日本画像医療システム工業会  
企画調査部会 経済評価委員会 委員長 野口 雄司 先生  
15:15~16:45 座談会 ① 各施設における機器固定の現状と今後の対策  
② 時間外業務の現状と対応(当直制・オンコール)  
③ 技師会に望むこと  
17:00~ 懇親会  
【申込方法】 施設名・氏名を明記し技師会事務所までFAXにてお申し込みください。  
(社)静岡県放射線技師会 事務所  
FAX No. (054) 251-9690  
締め切り 平成11年1月5日(火)

※ 施設長宛依頼文必要な方は、技師会事務所(TEL No. (054) 251-5954)までご連絡ください。(一部施設には発送済み)

生涯教育のカウントは2点です。

# 会 告

## 第15回 超音波部会研修会の開催について

標記研修会を下記のとおり開催致します。  
今回のテーマは「超音波における各科急性疾患の対応」としました。  
様々な急性疾患を超音波ではどのように診断されているのかについての講演です。ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。  
なお、会場整理費は1,000円（テキスト代を含む）とさせていただきます。

### 記

【日 時】 平成11年2月20日（土）14：00～18：00

【会 場】 もくせい会館 2F 第1会議室  
〒420-0839 静岡市鷹匠3-6-1 ☎ (054) 245-1595

【テ ー マ】 超音波における各科急性疾患の対応  
【主 催】 (社) 静岡県放射線技師会 超音波部会  
【協 賛】 GE横河メディカルシステム株式会社  
株式会社ネクサス

【会場整理費】 1,000円（テキスト代含む）

【内 容】

- |              |   |                   |       |
|--------------|---|-------------------|-------|
|              | 座長  | 総合病院静岡厚生病院        | 山本 満  |
| ①14：15～14：30 | 「画像記録の現状について」                               | 株式会社ネクサス          | 小野 広伸 |
| ②14：30～14：45 | 「超音波の最近の動向」                                 | GE横河メディカルシステム株式会社 | 東泉 隆夫 |
| ③14：45～15：00 | 「胃後壁の隆起性腫瘍と下腹部に pseudo kidney sign を認めた一症例」 | 静岡県立総合病院          | 三浦 孝夫 |
| ④15：00～15：15 | 「急性腹症における腸管疾患について」                          | 静岡済生会総合病院         | 増田 和道 |

— 休 憩 機器展示をご覧ください —

- |              |  |            |       |
|--------------|--|------------|-------|
|              | 座長   | 共立菊川総合病院   | 大石 統彦 |
| ⑤15：30～15：45 | 「小児科領域における急性腹症」                                    | 富士市立中央病院   | 遠藤 佳秀 |
| ⑥15：45～16：00 | 「血管外科の急性疾患における超音波診断」                               | 藤枝市立総合病院   | 北川 敬康 |
| ⑦16：00～16：15 | 「循環器科の急性疾患における超音波診断」                               | 藤枝市立総合病院   | 溝口 賢哉 |
| ⑧16：15～16：30 | 「整形外科領域の急性疾患における超音波診断」                             | 総合病院清水厚生病院 | 吉田 忠尚 |
| 17：00～17：45  | 実習<br>〈GE横河メディカルシステム株式会社のご協力により実技指導を行います〉<br>(敬称略) |            |       |

生涯カウント数は1点です。

# お知らせ

## 第40回 東海四県放射線技師合同研究会

第40回東海四県放射線技師合同研究会を下記日程にて開催致します。今回は愛知県の当番により、がん検診をテーマにシンポジウムと講演2題の企画となっております。  
本県からも多数の会員がご参加くださいますようご案内申し上げます。

### 記

【日 時】 平成11年2月21日（日）9：50～15：45

【会 場】 名古屋国際会議場 1号館 141・412会議室  
〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号 ☎ (052) 683-7711

【参加費】 500円

### 【内 容】

- 9：30～ 受付  
9：50～10：00 当番県会長挨拶  
10：00～12：00 シンポジウム「がん検診における診療放射線技師の役割」  
座 長 愛知県がんセンター 長坂 紘次  
名古屋大学医学部附属病院 安部哲太郎  
シンポジスト (財)田方保健医療対策協会附属病院 桑沢 啓治  
三重県総合保健センター 仲西 和成  
四日市港湾福利厚生協会 築港病院 西川 孝  
大垣市民病院 川地 俊明  
愛知県健康づくり振興事業団 山口よし江  
(敬称略)
- 13：00～13：40 講 演「環境に対応したコニカの処理システム」  
コニカ株式会社 塚田 和也 先生  
13：40～14：40 特別講演「がん検診の有効性評価について」  
愛知県がんセンター研究所 室長 石黒 哲生 先生  
14：40～15：40 特別講演「乳癌の画像診断」  
愛知県がんセンター病院 乳腺外科 医長 岩瀬 拓士 先生  
15：40～15：45 次期当番県会長挨拶

【共 催】 東海四県放射線技師会  
コニカ株式会社  
(株)コニカメディカル

【当 番】 (社)愛知県放射線技師会

生涯教育のカウントは2点です。

# 予 告

## 平成 11 年度

## 東海北陸地域放射線技師学術大会の開催ならびに一般演題について

(社) 富山県放射線技師会の当番による平成11年度東海北陸地域放射線技師学術大会を、下記により開催致しますので、多くの会員の皆様をご参加くださいますようお願い申し上げます。

また、一般演題を募集いたしますので、多数の演題をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

### 記

- 【日 時】 平成11年7月3日(土) 14:00 ~ 4日(日) 12:30
- 【会 場】 安田生命ホール 富山市宝町1-3-10 TEL (0764) 44-7006
- 【内 容】 (1) 特別講演 講師(未定)  
(2) パネルディスカッション「画像電子化の現状と将来」(通信と保存)  
(3) 会員研究発表 20題
- 【主 催】 日本放射線技師会東海北陸地域放射線技師会
- 【後 援】 (社) 日本放射線技師会
- 【実 施】 (社) 富山県放射線技師会
- 【参加登録費】 1,000円
- 【その他】 生涯教育のカウント数は、1日のみ参加:3点 2日とも参加:6点  
宿泊は紹介のみとなりますので、各自申し込みとなります。

### 一 般 演 題 募 集

#### 【発表形式と要領】

- (1) 発表時間:口述 6分
- (2) スライド:35ミリスライド10枚以内で1面映写

#### 【応募要領】

- (1) 発表者・共同発表者は、すべて日本放射線技師会会員に限る。
- (2) A4サイズ用紙1枚に12ポイントの文字サイズで、次の事項を記入して申し込みください。

\*演題名 \*施設名 \*発表者名及び共同演者名 \*要旨(400字以内)  
なお、演題申し込み用紙をそのまま印刷しますのでワープロ作成願います。  
また、送付封筒の表に「演題申込書」と朱書き願います。

- (3) 申込締切:平成11年3月31日(水)必着
- (4) 申 込 先:〒930-8550 富山市西長江2-2-78

富山県立中央病院 画像技術科内 (社) 富山県放射線技師会 宛  
TEL (0764) 24-1531 (内2571)  
FAX (0764) 92-5025

#### 【採否の決定】

当番県で決定し、申込者に通知致します。

平成11年1月に再度ご案内致します。(予定)

# 学術論文募集

(社)静岡県放射線技師会編集委員会では、学術論文を募集掲載致します。

これは、現役会員の学士号取得という明瞭な目標ができ、会員の研鑽意欲、生涯学習への意欲が益々高まってきている現在、しずおかジャーナルの紙面を論文発表の場に活用していただくことを目的としています。

学術論文、誌上講座、各種リポート等はじめ、学会、学術大会等で発表したものでも構いませんので(静岡県放射線技師学術大会は除く)、積極的な投稿を期待し、ご案内申し上げます。

## 投稿規定

### 1. 資格

(社)静岡県放射線技師会会員

### 2. 投稿要領

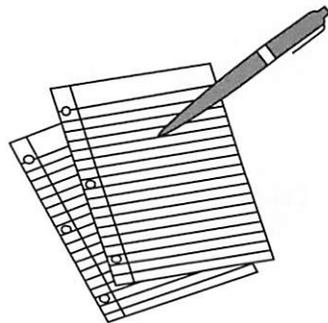
- ① 投稿内容は学術研究論文・誌上講座・論説・資料・その他とします。
- ② 原稿は原則としてワードプロセッサによりB5用紙に横書き22字×2段組×37行とします。  
(表題、著者名等に6行程度使用 しずおかジャーナルを参考にしてください)  
できましたらフロッピーディスクを添付してください。  
3.5inchFD・DOSフォーマット形式・一太郎、Word(または.TXT)
- ③ 表題・施設名・所属・著者名を記載してください。
- ④ 原稿の長さは写真・図・表を含め4枚以内としてください。
- ⑤ 写真(図・表)は文字原稿と別にし、記号等で配置が分かるようにしてください。
- ⑥ 静岡県放射線技師学術大会で発表されたものは掲載できません。
- ⑦ 学会等で発表したものについては、必ずその旨を末尾に明記してください。
- ⑧ 原稿の採否につきましては編集委員会で可否を決め、受付順に掲載させていただきます。

### 3. 送り先

〒420-0839

静岡市鷹匠2-3-2 サンシティ鷹匠601

(社)静岡県放射線技師会 編集委員会



## (社)静岡県技師会波瀾万丈の50年

(社)静岡県放射線技師会 副会長 庄 賢治



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては良い年をお迎えの事と思います。

(社)静岡県放射線技師会は、昭和23年32名の有志により発足して以来、今日まで歴代の会長・役員の方々をはじめ会員の並々ならぬご努力が一体となり、放射線学を通して県民福祉と医療の向上・資質の向上に邁進してきました。

現在の会員数は880名を有する大きな家族になりましたが、この間、昭和26年「診療エックス線技師法」の公布。昭和43年「診療エックス線技師法」の一部改正。昭和58年「診療放射線技師法」が誕生して身分法が一本化されましたが、ここで2度目の国家試験を受験しなければならない試練となり123時間と言う長期間毎週土・日曜日の講習会、そして2日間以上の休暇は受講資格が消えると言う厳しい状況を会員全員がクリアしてきました。

平成5年には技師法の一部改正によりMRI及び超音波並びに無散瞳眼底検査が行える様になった事は業務拡大につながる結果となりました。ありがたい超音波の取扱いが認知されずにいましたが、幸いなことに静岡県では、法的な是非は別にして超音波の魅力に憑かれた優れた技師がいたことです。

平成3年3月に全国の会員が待望していた「鈴鹿医療科学技術大学」が開学し、平成6年には早くも大学院が開学して、技師の修士課程から博士号への途が開かれました。

本会では、平成2年全国学術大会開催2,600名を越える参加者を迎えて大成功でありました。そして、平成3年永年の念願であっ

た社団法人格が県から認可され晴れて社会的に認知され一人前の団体となりました。社団法人として県防災事業の中で地震編・原子力編についての対策を今現在も行っていますが、継続することに意義があると思います。

波瀾万丈の(社)県放射線技師会も半世紀を迎えての50周年事業の中で年史発刊と記念式典を行い50歳を迎えた事を会員一同で祝いました。

日本放射線技師会は、世界放射線技師会が提言した「放射線技師の役割」実践を採択して、役割の実践に取り組んでいるところですが、現在本会では、ポイント制を敷いた地道な生涯教育を現在取り組んでおり、日本放射線技師会に対しても積極的な提言を行ってきました。

その一つに臨床実習指導者講習会を1週間の受講で認定証を受領すれば、あとは何もなくても指導者で通るようであってはなりません。技術も指導方法等も、全てが時代と共に進展しているのですから継続が必要なのです。

JARTによればようやく再講習の機会がありそうです。新年を迎えて「さあ、1月の学習会は、いつだったか」と新しい手帳に行事を記入、当日は仲間を誘って参加する。こうしたことを仲間のひとり一人が実践してくれることを希望しています。

# 創立50周年記念講演、記念式典、記念祝賀会

平成10年10月17日(土) ホテルアソシア静岡ターミナル

去る10月17日土曜日、我が静岡県放射線技師会創立50周年の記念行事(記念講演、記念式典、記念祝賀会)が、ホテルアソシア静岡ターミナル3階駿府の間にて開催された。あいにくの天気にも関わらず178人出席者の参列のうちに盛大に行われた。

## 創立50周年記念講演 1

静岡市立高校の国語教師である富山昭先生により『しずおかの方言と生活』と題して講演された。かつて方言は国の政策による共通語の強要により虐げられてきた。しかしながら現在はその地方の文化として見直されつつある。1998年の文部省の諮問機関である国語審議会の答申によると、方言は地域の文化を伝え豊かな人間関係を担うもので、美しく豊かな言葉の一要素として位置づけられ、今後も共通語と方言は共存していくことが望ましいとされているようだ。静岡の人は静岡は標準語に近いと思われ方言に対する意識が薄いようであるが、北海道出身の富山先生によると実はいろんな所で静岡独特の方言というものが無意識の内に数多く使われている。その方言は汚い言葉、乱暴な言葉よりも美しく豊かな表現をされているものが多い。そして方言はその地域の人の性格、心情的のものが多く現れているようだ。また県西部地区のある病院の話で医師が年輩の患者さんに方言を使いながら病気の説明をされているの見てほのぼのとした医師と患者の関係を垣間見たという話

は、医療従事者である我々も患者との関係を考える上で方言の使い方を考慮し患者と接することも大切と感じた。

## 創立50周年記念講演 2

昨年Jリーグで大活躍し優勝したジュビロ磐田の監督代行であった桑原隆先生による講演であった。(SBSのサッカー解説者の桑原さんの弟)ちなみに講演演題である『夢と感動』はジュビロ磐田のキャッチコピーのようなものだそうで、関係職員の名刺には必ず書いてあるそうだ。まず先生のサッカーの経歴は中学の時より始まり、高校では藤枝東高校で全国制覇をなされ、実業団では現在のジェフユナイテッド市原の前身である古河電工にてプレイされ日本代表の経験者です。しかしながら比較的小柄な体格故に大変苦勞されたそうです。先生が申されるには人生には必ず3回のチャンスが巡ってくる。だから日頃から夢を大きく持ちそれに向けての努力を惜しまないことが大切であるとのことで、先生にとってのチャンスは古河電工に入社したことと、ジュビロ磐田の監督代行に成ったことが2度のチャンスでもう一度必ずチャンスがくると信じて現在S級監督の資格を目指してがんばっているそうです。とにかく夢を持って行動すること。常に前向きに前向きに行動することが大きな夢を実現することだと熱弁された。



## 創立50周年記念式典

公開講演会に引き続き記念式典となった。まず吉村会長より、戦後間もない昭和23年、世相の混乱の中にあつて本会はその前身である日本放射線技術学会東海支部静岡地方会として発足した。以来歴代会長、役員をはじめ各会員が一体となつて放射線技術を通して医療の向上、資質の向上に努めてきた。この間、昭和26年に診療エックス線技師法の制定、昭和58年には診療放射線技師法としての身分法の一本化が成され、平成5年には技師法の一部改正により業務拡大と同時に医療情報の秘密義務及びチーム医療の推進が明文化された。3度にわたる法改正が行われ、その都度全国組織である社団法人日本放射線技師会と連携をとり、会員の身分保障とともに会員の教育に全力を注いできた。平成3年には社団法人の認可を得、晴れて社会的に認知された新しい団体としてスタートした。創立時32名の会員も現在870名余の団体に発展した。この50年を大きな契機としてこれからの21世紀に向け会員が一致団結して一層地域医療活動の推進、県民の健康保持のために私たち放射線技師一人一人がチーム医療の一員として重責を担っていく所存であると式辞があつた。そして御来賓より心強い多くの祝辞を頂いた。次に表彰となり庄会員、篠田会員が県知事表彰を、続いて創立時会員功労賞、歴代会長表彰、歴代職員感謝状及び関連企業に感謝状が渡され表彰が終わつた。そして数多くの祝電が披露され、大石副会長の挨拶にて無事終了した。



## 創立50周年記念祝賀会

会場を移し記念祝賀会では132人と大勢の方が参加された。日本舞踊“明けそめて”による華やかな幕開けで記念祝賀会が始まった。吉村会長の挨拶に続き浜松医科大学放射線科教授金子昌生先生の御祝辞となった。先生は静岡県放射線技師会の益々の発展と放射線技師の更なるレベルアップを願い挨拶とした。次に50年史を編纂した編纂委員を代表し白鳥委員長より編纂にまつわる話と記念史への論文投稿者の発表が行われた。続いて日本放射線技師会の歌“楽しいJART”を日頃から練習されている県技師会役員を中心に全員で合唱した。そして会員を代表して萩原政治会員の御発声により乾杯となり来賓の方々の御祝辞をいただいた。三味線の音色に会もたけなわとなり“(社)静岡県放射線技師会の今昔”と題しスライドによる技師会の足跡が三井田副会長より語られた。会場のあちらこちらでは懐かしい思い出にふける年輩の会員を中心に歓声が上がっていた。またスライドの中では昔の会誌や昔の放射線機器の様子が伺い知ることができ諸先輩方の努力を垣間見たような気がした。最後にビンゴゲームが行われた。一等のデジタルカメラは誰の手に渡つたでしょうか？

50周年という大きな節目を参加者全員が分かち合い、祝賀会は大盛況の内に無事終了した。





# おめでとうござります

## 創立50周年記念表彰

### 静岡県知事表彰

庄 賢 治

篠田 俊 治

社団法人 静岡県放射線技師会会長表彰

### 功労賞

#### 創立時会員功労表彰

萩原 政治	中澤 邦夫	大島喜八郎	三保 利策
松本 金治	辻 壽	檜野 貞一	大塚 康夫
小林 茂利	風間 貞		

#### 歴代会長表彰

中澤 邦夫 大島喜八郎 小林 和也 宮本 唯男

### 感謝状 (事務職員)

篠原佐保子 安間 公江

### 感謝状 (関連会社)

アロカ株式会社	安西メディカル株式会社	イメージン株式会社
エーザイ株式会社	栄研化学株式会社	株式会社アイエル
株式会社カイゲン	株式会社協和ME	株式会社島津製作所
株式会社千代田テクノ	株式会社東邦化学研究所	株式会社日本環境調査研究所
株式会社日立メディコ	株式会社フジイカ	協和医科機器株式会社
協和発酵工業株式会社	コニカ株式会社	コニカメディカル株式会社
シーマン株式会社	静岡メディックス株式会社	第一製薬株式会社
千代田メディカル株式会社	テルモ株式会社	東芝メディカル株式会社
東洋メディック株式会社	長瀬ランダウア株式会社	日本コダック株式会社
日本シェーリング株式会社	伏見製薬株式会社	堀井製品工業株式会社
三菱電機株式会社	山之内製薬株式会社	有限会社伸仲メディカル
株式会社第一ラジオアイソトープ研究所	株式会社メディカルプロジェクト	
シーメンス旭メディテック株式会社	GE横河メディカルシステム株式会社	
日本アグファ・ゲバルト株式会社	日本メジフィジックス株式会社	
富士メディカルシステム株式会社	フィリップスメディカルシステムズ株式会社	

(敬称略 順不同)

# 平成10年度災害緊急時対策研修会

平成10年11月14日(土)

静岡県もくせい会館

去る11月14日土曜日、静岡県もくせい会館2階第1会議室において災害緊急時対策研修会が行われた。秋晴れの好天気の中60人の出席者の中で行われた。

## 1. 放射線機器固定実態調査報告

吉村会長の挨拶に続き三井田副会長より先ほど行われた県技師会のアンケートにもとづく放射線機器固定実態調査の報告が行われた。県技師会は従来より機器固定についてこれを推進すべく働きかけてきたが、各施設においてどれくらい実施されているか注目された。機器固定について90%以上の施設において必要であると考えているということに対して、機器固定の予算の捻出の難しさ等により実状はまだまだ十分に機器固定されていない結果だった。また少数ではあるが機器固定を全く考えていない施設があることも見逃せない結果であった。

## 2. 東海地震発生のメカニズムと予知手法

地震に関しては全国的にもご高名で有り、地震防災対策強化地域判定会会長である溝上恵先生に講演を賜った。日本は兎にも角にも地震が多い国である。それは地球規模の地殻変化において太平洋プレート、フィリピン海プレート、北米プレート、ユーラシアプレートなどが重なり合う場所に位置しているためだそう。そして地震は突発的に起こると思われているが、実は長い年月地殻に歪みを与えながらエネルギーを蓄積して起こ

る。地震予知においてこの歪みの程度が重要な手掛かりと成る。しかしながら日本において歪みの溜まりが解っているのは東海沖だけで東海沖地震が注目されている所以である。また地震の予知についてどういう歪みの異常が地震の発生に至るか解ってきたのは最近のことで、歪みの程度を観察する機器の開発も最近のこのようだ。そして歪みを観察する機器は高価なためまだまだ十分に配置されて無くきめ細やかな歪みの観察は今のところできない。しかし来るべき東海沖地震は必ず予知すべく先生方は日々努力なされているようだ。最後に一般の方は先生方に地震が起こるか、起こらないかのみを問われるがもう少し地震予知の内容について理解して欲しいとお話された。

## 3. 日本のエネルギー事情と原子力発電から出る使用済み燃料の対策について

原子力発電の使用済み核燃料について話題となっている青森県六ヶ所村の日本原燃株式会社再処理事業所より金井英次先生をお招きし講演を賜った。日本の電力供給は今のところ石油石炭など天然資源に依存するところが大きいこれから先これらに依存し続けるには限りある。しかし原子力発電については核燃料を再利用する事でコストが低く数千年電力を供給することができる。フランス、ドイツ等の先進国では他国に先駆けて実践している。少資源で電力需要の大きい日本にとっても大変メリットが大きく、現在電力資源においての我が国の基本政策としてこの事業が推進されている。しかしながら放射性物質を扱うわけであるから慎重を喫して細心の注意のもと事業が行われているようだ。そして六ヶ所村の施設はまだ一部のみしか出来ておらず全体の操業開始はまだまだ先のような。また六ヶ所村は風光明媚にて青森県にきたときは是非とも立ち寄り施設を見学してもらいたいとのこと。ただし冬は地吹雪が有り大変なようだ。



第7回MRI部会研修会

「神経系MRIはどこまで分かるか」

平成10年10月3日(土)  
もくせい会館

平成10年10月3日(土)静岡県もくせい会館において、新規MRI部会としては第1回目の研修会を行う事ができました。当日は前部会委員の作ったMRIテクニカルテキストの配布もあり、79名の会員の参加を得ることができ大変うれしく思います。今回の試みとして、講演と講演の間に写真展示(3施設の頭部ルーチン)を行いました。

最初のメーカー講演ではシーメンス旭メディックMRプロダクトグループの水内 宣夫先生に「MRIの今後の展望」というテーマで話をいただきました。

話の内容はMRI開発当初から現在に至るまでの話(当初は磁気シールドなど無く広大な設置スペースを必要としたとか、常電導から超電導になり画質が向上した。またファーストシーケンス、EPI等の開発によって撮像時間が飛躍的に短くなった等)から始まり、今後の開発コンセプトについて分かり易く話をいただきました。開発コンセプトは概ね、次の様なものでした。1. 患者さんにやさしい。2. 撮影の高速化。3. 形態だけでなく機能を見る。

1. 「患者さんにやさしく」に関しては、医療業界の基本姿勢であり、これを第1にあげてくれたシーメンスさんに拍手を送りたい。患者さんがより快適に検査を受けられる様、ベッドの工夫、狭く圧迫感のあるガントリーをオープンタイプにする、装置を小型化する。また磁場に対する安全性を考慮しスリューレイトをむやみに上げすぎない等、やさしさを優先させた開発を行っている。
2. 「撮影の高速化」に関しては、EPIの改良、息止め時間の短縮、リアルタイムリコンモード、またコイル交換の手間をなくす全身用アレイコイルの開発等、検査時間の短縮に寄与する開発を行っている。
3. 「形態だけでなく機能を見る」に関しては、ご存知Diffusion・Perfusionの製品レベルでの開発、また神経伝達の視覚化等、MRIの可能性を現実化するための開発を行っている。



最後に夢物語として、多人数同時撮影や飛行機、電車に乗っている間に検査できるMRIシート、また眠っている間に検査できるMRI布団等、実現したら面白そうな話もして頂きました。

次の学術講演では聖隷浜松病院放射線科の伊藤龍彦先生に「頭部神経系MRIはどこまで分かるか」というテーマで話をいただきました。

伊藤先生の話は、2部構成になっていて1つはテーマに沿った話、もう1つは今回の展示写真を題材に、県内の施設間におけるルーチン検査のばらつきをディスカッションするものでした。

テーマに沿った話では主に「何が見えるのか?」ではなく、「何を見ようとするのか?」によって撮影方向もシーケンスも変わってくる。大切なのは検査を行う技師が、何を目的に検査をしているのかをしっかりと把握することである。普段業務に流されている我々にはきつい一言であった。

2部では展示された写真に対して、「なぜこの写真を撮るのか?」「他の施設ではどうなのか?」「他に変わった撮り方をしてる施設はあるか?」等、ディスカッションして盛り上がった。

不慣れな者が集まって行った研修会にしては予想以上の成功であったと思います。今後ますます発展させて行くため、興味深い内容を考えて行きますので、ご支援のほどよろしくお願ひします。

(MRI部会長 聖隷浜松病院 石津文夫)

# 第14回超音波部会研修会 「脳血管の超音波診断」

平成10年11月7日(土)  
もくせい会館

「脳血管の超音波診断」をテーマに14回の研修会を行った。今回は少し目先を換えたテーマを選んだため出席数が危ぶまれたが、かえって馴染みの薄いテーマに興味注がれたせいか大変盛況であった。ご参加頂いた会員、ならびに休日を返上し私たちのために遅くまで機器の提供などにお付き合いを頂いた東芝メディカル株式会社、株式会社マンソンの皆様に厚くお礼申し上げます。研修会は既に恒例となったメーカー2題の発表と会員4題の発表に加えトピックス1題の構成で行った。これについての概要を報告する。「新製品Power Vision 6000の紹介」では東芝メディカル株式会社の五十嵐勉氏が、腹部・心臓・脳の検査をこの装置1台で検査可能な新製品の紹介を物理的事柄を交え、臨床面に優れた点について説明された。また幸いにも、この装置2台を今回の実習装置として提供して頂き、脳血管の鮮明な描出に力を発揮する様子を体験させてもらうことができた。

「Aモードのドプラ装置について」では株式会社マンソンの荒井努氏が、Aモード波形の原理と幾つかの脳血管波形を示し、この装置の有用性、応用といったことについて解説された。

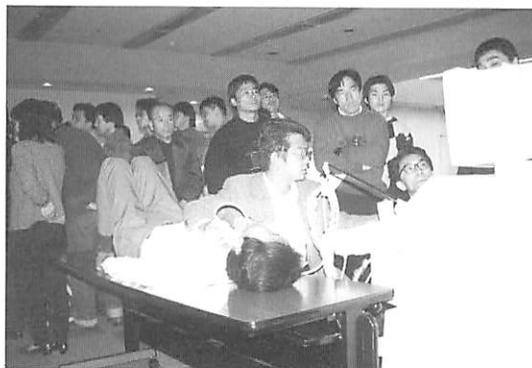
「当院における脳スペクトとアンギオ」では社会保険浜松病院 児玉博英氏が、脳虚血の診断にスペクトの有用性が述べられ、24時間体制で取り組んでいる様子と、スペクト画像とその裏付けをアンギオ画像と対比させ有用性を強調された。

「中枢神経領域におけるMR診断」では富士脳障害研究所付属病院 牛場克明氏が、MRにおけるルーチン撮影法を説明し、豊富なMRの臨床例とその体験を示してくれた。

「四肢血管病変の超音波診断」では藤枝市立総合病院 北川敬康氏が、上肢・下肢血管の解剖学的事柄と正常画像との対比をされ、多くの臨床例と検査に必要な注意事項について述べてくれた。

「頸動脈の超音波診断」では静岡県立総合病院

望月守氏が、頸動脈の解剖と超音波表示法といった基礎的事柄について説明し、その後、最もポピュラーな頸動脈の石灰化や壁肥厚などの症例を中心に超音波診断の有用性を強調された。



トピックスでは「中枢神経領域における超波」と題し、私が6ヶ月間、脳血管の描出について体験したことと日本脳神経超音波学会に参加した様子を交えながら報告させて頂いた。

現在、脳の血流評価を超音波で実施している施設は全国的に見ても極めて少ない。この検査が最も注目するのは、クモ膜下出血により40%程にVasospasmが発生するといわれ、その評価を中大脳動脈の血流速度で知ることができるもので、脳梗塞をベッドサイドで未然に防ぐ情報として、他に無い検査法と期待されているからである。

この日の実技とテキストを参考に本法を病院に定着させてみては如何でしょうか。

なお、次回は平成11年2月20日(土)、もくせい会館・富士ホールで行います。テーマは「超音波における各科急性疾患の対応」としました。超音波画像を中心に、他の裏付け画像を多く用いた講演としますので、緊張感ある実践的な発表会になるはずで。どうぞご期待ください。

(超音波部会会長 藤枝市立総合病院 杉山 高)

# 身体にハンディのある方への

中部

東部

# 胃及び超音波の無料検診

## 《中部地区》

残暑厳しい9月20日（日）、（社）静岡県放射線技師会と中部地区会では、静岡市駿府公園内で開催された「第20回静岡ふれあい広場」の一環として、身体障害者の方への「胃及び超音波」の無料検診を実施しました。

当日は総勢16名のスタッフにより、朝8時から受付を開始し、8時30分より超音波20名、胃部13名の検査を行い、12時には無事終了することが出来ました。

なお検査結果は、胃部については静岡済生会総合病院にて、また超音波については総合病院静岡厚生病院で報告書を作成していただきました。

最後になりましたが、静岡済生会総合病院及び職員の皆様、総合病院静岡厚生病院、そして協賛していただいた千代田メディカル株式会社、東芝メディカル株式会社など多くの方々のご厚意で無事終了することが出来ました。この場を借りて御礼の言葉とさせていただきます。



## 《東部地区》

去る、10月4日（日）に（財）田方保健医療対策協会施設内において、恒例の身障者（視力に障害を持った方）無料検診を下記のごとく開催した。

当日は、

検査項目	身長・体重・肥満度・体脂肪率 血圧・聴力・尿・血液・心電図 腹部超音波・胸部間接・胃部間接
受診者数	17名（会員の体験者1名を含む）
スタッフ数	県放射線技師会 3名 東部地区会 18名 県臨床衛生検査技師会 13名 点訳ボランティア 5名

今回は、（社）静岡県臨床衛生検査技師会と共催という初めての試みでしたが、スタッフ一同のご協力により無事終了いたしました。東部地区会員は、撮影はもとより各種検査や案内や介助にと奮闘し、また、県技師会の吉村会長や庄・三井田両副会長も受診者の案内係をかって出てくれました。

受診者には、検診の内容やマンツーマンの案内や、スタッフの対応などが好評でしたが、検診の継続性や送迎などを望む声も多く聞かれました。



## 平成10年度

# 第2、3回放射線セミナー 各地区で開催される

平成10年度の第2回放射線セミナーが第一製薬株式会社との共催で、第3回放射線セミナーはエーザイ株式会社との共催により各地区において開催された。各地区の会員には身近な勉強会として定着し、地区役員のアイディアあふれる企画により有意義な講演会と会員相互の親睦に大いに役立っている。そこで各地区での内容を報告してもらい、情報交換の場として活用していただければ幸いである。

(編集委員会)

## 第2回放射線セミナー

### 東部地区

#### 第2回放射線セミナー盛況のうち無事に終わる

去る9月12日(土)に三島市民文化会館にて、第2回放射線セミナーを開催した。一般来場者を含めて54名の参加があった。当日は、

「造影剤の製剤的工夫

オムニパークシリンジを中心として」

第一製薬株式会社創剤研究所

菊池 正彦 先生

「地ビールの出来るまで」

御殿場高原ビール株式会社

穴澤 彰一 先生

「脳血管障害の総合画像診断」

順天堂伊豆長岡病院放射線科講師

平野 暁 先生

の講演が行われ盛況の内に終了した。

### 中部地区

#### 第2回放射線セミナー及び

#### 第1回胃がん検診従事者講習会

平成10年度第2回放射線セミナー及び第1回胃がん検診従事者講習会が9月26日(土)に、第一製薬株式会社との共催で静岡市日興会館にて75名の参加を得て盛大に開催された。

飯塚地区会長の挨拶の後、「血管病変の3D-CTA・3D-MRA」と題して、第一製薬株式会社よりビデオ講演が行われた。

続いて、東海大学海洋学部講師のグレゴリー・オーダウド先生により、「異文化間のコミュニケーション」と題して講演が行われた。



引き続き、「胃X線撮影“今これだけは知っておきたい!”」と題して、日本消化器集団検診学会東海北陸支部技師部会会長の馬場健侃先生より胃X線撮影技術のポイントを講演していただいた。

会場のすごい熱気の中すべての講演が終わり、懇親会へと席を移して会員相互間の親睦を大いに深めた。

### 西部地区

#### 第1回地区会勉強会を開催して

西部地区会勉強会委員長 村田 守

今年度、新役員になって初めての勉強会の開催であり、胃がん検診講習会と放射線セミナーを組み合わせた形で9月26日(土)、名鉄ホテルにて行われた。

最初の胃がん検診講習会では委員の中から「ぜひ放射線技師の方の講演がいいのでは?」との意見もあり、大垣市民病院の放射線技師である遠藤斗紀雄氏に「胃について(主に基本的解剖から)」と題してお願いした。いまさら解剖なんてと思っていた人もいたようだが、胃について解剖、生理の面から深く突っ込んだ内容であり、消化管造影を行ったことがあまりない私などは聞く話が新鮮であり興味深く聞き入った。解剖から始まり潰瘍の出来る原因まで食べ物のことからストレスの作用について工夫を凝らした説明であり、一枚の消化管写真の中にこんな成り立ちがあったのかと思うほどすぐに役立つ内容であった。あまりに熱心で若干時間オーバーとなったが有意義な講演であったと思う。

続いてセミナーにはいり、造影剤使用の原則禁忌については添付書にも書いてあるがなかなか知らない人も多いのではと、第一製薬の學術部の加藤誓氏による「造影剤禁忌のメカニズム」と題してもう一度詳しい説明をお願いした。

さらにもう一題の講演が続き「スパイラルテープの概要」と言うことで考案者であるスパイラルテーピング協会の田中信孝先生にお話を伺った。今回は医療人が相手と言うことでスライドによ

てスパイラルテープの使用におけるデータの結果などの資料説明があり、実際にテープの効用について会員を相手に実演がなされた。テープを貼るだけで肩こり、腰痛などが軽減し、貼り方によってはそんなバカなと思えるほど力が入らなくなったり、微妙な身体の変化を見だしてポイントに貼るだ



けで身体のバランスの手助けをするということであった。ただ、痛みを和らげるためには身体のバランスをとることを目的としているのでテープを貼ることによって痛みのない状態での筋肉の状態を筋肉が学習して治していくということであった。テキストとテープの試供品なども配られ、貼り方の説明もあり、会員も興味深かったようだがいまいち仕組みはよく分からず不思議であった。

結果的に58名の会員の出席があり、盛りだくさんの内容であったが主催者側としても楽しめて非常に良かった勉強会であったと思われる。

## 第3回放射線セミナー

### 東部地区

#### 第3回放射線セミナー

##### 第1回胃がん検診従事者講習会

##### & 東部地区忘年会 無事に終わる

去る11月28日(土)・29日(日)にサイクルスポーツセンター サイテル第8研修室において標記事業を開催した。当日(11月28日)放射線セミナーの内容は、

「造影剤の安全性情報」

エーザイ株式会社 篠田 幸範 先生

「救急救命医療の最前線」

田方地区消防署救急救命士 谷村 忠義 先生の講演が行われ、47名の参加者を得て盛況の内に終了し、引き続き恒例となりました東部地区忘年会を開催した。一次会、二次会・・・と和気藹々とした雰囲気の中、翌日の胃がん検診従事者講習会を忘れていたのでは?と思えるほど夜遅くまで親睦会は続いた。

一夜が明けた11月29日の胃がん検診従事者講習会は、前夜の影響もなく34名参加者のもと下記内容の如く開催した。

「ビデオで参加!・障害者無料検診」

(10月4日(日)):(財)田方保健医療対策協会)

「超音波装置と取扱い」

東芝メディカル株式会社営業技術課長

名倉 清好 先生

「初心者の上腹部超音波検査法」

富士市立中央病院 遠藤 佳秀 会員

「上腹部超音波検査の実技指導」

富士市立中央病院 遠藤 佳秀 会員

(財)田方保健医療対策協会附属病院

成川 秋彦 会員

NTT伊豆通信病院 滝口 省吾 会員

### 中部地区

#### 平成10年度第3回放射線セミナー

平成10年度第3回放射線セミナーが、11月21日(土)にメディアシティ静岡12F/百人劇場にて開催された。当日は今年一番の冷え込みで参加者ので足も鈍く心配されたが、最終的には53名とまずまずの参加者を得た。

最初に、「造影剤の安全情報」と題してエーザイ株式会社の篠田幸範先生の講演から始まった。

続いて、「私と超音波との出会いから今へ・そしてこれから」と題して、藤枝市立総合病院超音波科の杉山高先生による講演があった。先生の超音波との出会い、そしてこれから考えられることなどをお話いただいた。

最後に、「スポーツは楽しい、苦しい!?!」と題して、清水エスパルス・チームドクター福岡重雄先生によるサッカーを中心としたスポーツ整形の講演があった。

セミナー終了後会場を変えて懇親会が開かれ、杉山先生、福岡先生を交えて楽しいひとときを過ごした。

12月12日(土)に行われた西部地区第3回放射線セミナーは編集日程の都合上、次回(Vol.8 No.4)に掲載致します。

## I SRRT世界大会に参加して

藤枝市立総合病院 超音波科 秋山 敏一

大会テーマ「21世紀の医療－放射線技師の役割」のもと、第11回世界放射線技師会世界大会が1998年9月19日より5日間、幕張メッセで開催されました。この大会に、初日から3日間出席できましたので報告いたします。

はじめに、中村實会長を始め役員の方々のご尽力により、I SRRT単独による大変立派な世界大会が日本で開催されましたことに、感謝と共に深く敬意を表したいと思います。日本に居ながら世界の最先端の情報を知り得たうえに、語学力に乏しい私でも、同時通訳という手段で世界の仲間入りができて大変幸せでした。登録時には高く感じた参加費も、日を逐って廉価に思われてきて、仕事の都合上途中で帰らねばならなかったことが、大変心残りでした。

受付で中身の重い大きなバックを受け取り、世界大会の充実ぶりを予感し会場へ。メイン会場の演壇には万国旗が並べられ、流れる英語のアナウンスに国際学会に参加していることを実感しました。日本情緒豊かな琴の演奏で始まった世界大会は、世界56ヶ国から約2500名が参加し大変盛況でした。ただ、開会式に皇室関係のご臨席がなかったことは少し残念でした。

3会場26セッションに分かれての学術セッションは、発表持ち時間は10分、各セッション間には30分のコーヒータイトム、そして昼食には2時間と、ゆとり十分のプログラムとなっており、じっくりと見聞することが出来ました。

調査研究のセッションでは、Scott Bowman氏より「超音波検査時における患者コミュニケーション研究のための決定分析の利用」の発表があり、イギリスでは、超音波検査時に技師が患者へ結果の説明をしていることをはじめて知りました。この一例でも理解いただけるとは思いますが、各セッションの発表を通して各国の医療業務の違いも知



ることが出来、私にとって技師のあるべき将来像を考える上で大変勉強になりました。

超音波のセッションの発表は12題で、日本からは4題、内2題は当院からでした。杉山高技監が「消化管穿孔の超音波診断」を発表、私は「腹部血管病変における超音波カラードプラ3次元画像の有用性」を、発表することができました。超音波に携わる海外の技師に出会い共に発表出来たことは、とても良い勉強になりました。現在、私たちは書籍等を通して世界の最新情報の多くを知ることが出来ますが、やはり各国の同志同学の方々と同席し、意見交換して見聞を深めることには及びません。世界で活躍する彼らのパワーが直に感動をもって伝わってきました。

初めての世界大会は、大変刺激的であり緊張もしましたが、世界大会ならではの多くのものを学習できました。国際化が叫ばれている今、この世界大会に参加でき、国際化を肌で実感することが出来て大変感激しました。今後も、更に語学を勉強し、世界にも目を向け、技師としての資質向上を目標に、がんばっていききたいと思います。



# しずおかの方言と生活

日本民族学会 会員  
静岡市文化財保護審議委員  
富山 昭

先般、『しずおか方言考—読んでころじ』という本を書かせていただきました。

発売わずか二ヶ月目に、早くも版を重ねるといふ思いがけない反響を呼び、私自身もとまどうほどのなりゆきとなりました。

いま、方言が、なぜ注目されるのか。刊行前の思惑とともに、もういちどその点についての考察が求められていることを、この場におよんで実感している次第です。

静岡に住んで三十余年、道産子の私はいわば他所者です。

学生時代から長く続けてきた民俗調査を通して、これまで静岡県の各地を訪ね歩いてきました。そこで出会ったたくさんの人達に、土地ごとの歴史と文化、生活の伝承を教わりました。

同時に、国語教師としての私の関心は、静岡県の、そして地域によって微妙に異なる「ことば」のありようにも向けられました。

静岡県の「方言」に対する私のアプローチは、このようなかたちではじまったのですが、時あたかも、「方言」は、これまでの歴史に逆行するかのようになり、全国的にも見直しの気運が生じはじめていたのです。

平成7年11月、わが国の国語施策を左右する国語審議会の報告、「新しい時代に応じた国語施策について」が国に答申されました。

大事なことは、そこにはじめて（とあってよい）、わが国の「方言」の位置づけとあるべき方向性が示されたことでした。

結論的には、「方言は地域の文化を伝え、豊かな人間関係を担うもので、美しく豊かな言葉の一要素として位置づけることができる。今後も共通語と方言が共存していくことがのぞまれる」というものです。

かつてわが国では、「標準語」教育の推進を急ぐあまり、全国的に「方言」排斥の動きが生じたことは周知の通りです。

ところが最近になって、方言は社会の各方面に進出してきました。たとえば、マスメディアを通しての、書籍や音楽、ドラマやコマーシャルといった方面、さらには地域振興の一役を担わせられ

る（後述）までに親しまれはじめたのです。

こうした現代社会の動きが、今回の「方言」に関する画期的な国の施策となってあらわれたのだと思われまふ。

長くなりましたが、私の『読んでころじ』執筆のきっかけも、このような動きの中にかたちをなしたものでした。

私は、この書を通して、静岡県「方言」の見直しに着手するべく、多角的な側面からの「ことば」の掘起こしを試みたつもりです。

たとえば、「民謡」「地名」「文学」などにも、貴重な静岡の「方言文化」が形成されていること、そしてそれらを探ることで、「方言」が地域文化の一翼を担っていることへの再認識を図りたかったのです。

ところで、静岡県には、とりたてて意識するほどの「方言」がはたして用いられているのかという、素朴な疑問を感じている人もあるようです。

たしかに、東北弁や関西弁にくらべたら、たとえば静岡弁、浜松弁なども、そんなに顕著には共通語（標準語）との差異は認識されることがないようです。

しかしそれは、地元の人達特有の感じ方で、私のような他所から来て過ごす者にとっては、あきらかに静岡県の「方言」は存在するのです。

これまでもあきらかにされているように、静岡県の方言は、独特の言語表現を形成しつつ、今なお静岡県民の生活に根づいたものとしてあるのです。

ここではまず、静岡県方言の、語法、音韻、語彙といった面での目立った特徴を簡単に見ておきます。

## ◎語法（文末助動詞等）

・推量表現 「～スラ」、「～ラ」、  
「～タラ」

用 例 どうせ明日は雨ずら  
途中で寄るひまはないら  
やめた方が良かったら

・勧誘表現 「～マイ（カ）」、「～ザー」、  
「～ペー」

用 例 みんなで一緒にやらまい（か）

久しぶりに飲まざー  
どんなどこだか行ってみべー

・意志表現 「～ズ(ニ)」、  
「～ス(カ)」

用 例 明日はきっとやらす(に)  
街へでもいかす(か)

・過去表現 「～ツケ」、「～タツケ」

用 例 あめがやんでよかったつけ  
遅れちゃってわり(悪)ーつけ

以上が、専門家などの指摘する四大有名(?)  
方言(語法面での)を含む表現法です。

なかでも「ズラ言葉」というのは、一時期静岡  
県方言の代表格として広く紹介されたものでした。  
しかし、今では「～ラ」や「～ダラ」の方がよく  
用いられ、相当幅広い年齢層にも及んでいます。

また、勧誘の「～マイ」は西部、「～ザー」は  
中部、「～べー」は東部と、同じ静岡県ではあ  
ってもはっきりとその使用地域がわかれているのは、  
方言というもののもっている複雑な性質をよくあら  
わしています。

意志の「～ズ」も、かつては静岡出身の作家十  
返舎一九が、その著『東海道中膝栗毛』の中で、  
駿遠地方(ふるさと)の方言として繰り返し用い  
ている表現形です。

過去形表現「～ツケ」の場合は、関東など(東  
京でも)にもその用法がみられますが、なんと  
いっても静岡県(特に中部)ほどにこれを多用する  
地方はないのです。それは、単純な過去形ばかり  
でなく、時に詠嘆的、時に断定的であったりする、  
その用法の多様さに由来するといわれています。

もうひとつ、同じ文末用法として私が注目する  
のは、断定の助動詞「ダ」が、用言に直接付く(間  
に入る「の」や「ん」が省略)かたちで言われる  
表現です。

男性達は、「どこへ行くだ」「それで良いだよ」  
などと言い、女性もまた、「親がそう言うです」「子  
供が泣くですよ」などの言い方をする。私は、こ  
の「(行く)だ」の用法あたりに、もっとも静岡  
らしいひびきを感じる事がままあります。

### ◎音韻(訛り・アクセント等)

・訛語 方言のことば(語彙)のなかでも、「訛  
語」と呼ばれるのは、いわゆる共通語音からナマ  
(訛)ったものと見ての言い方です。あるいは発  
音のつけ加えや簡略(省略)化をも含めて、これ  
も静岡県に特徴ある多くの語形(音変化)を生ん  
でいます。

いくつかの例をあげてみます。

ヤッパリ →ヤッパ  
アンマリ →アンマ  
ソーカ →ホーカ

シズオカ →シゾーカ

ハママツ →ハーマツ

ショーガナイ→ションナイ

イーカゲン →エーカン

アブナイ →アブンナイ

カエル →キヤール

ミテゴラン →ミテゴー

以上のほかにも、サ行四段動詞連用形のイ音化  
(「出して」→「出いて」、「さがして」→「さが  
いて」等)などが、際立った特徴としてあげられ  
ます。

・アクセント 静岡県方言のアクセントの特徴と  
しては、その代表的なものとしてよく話題になる  
「頭高型」(第一音を高く発音する)のアクセント  
があります。

ただしこれは、中部および西部地域に顕著な現  
象で、関東方言に近いといわれる富士川以東には  
その傾向がみられません。

たとえば、静岡市の人などは、

クツ(靴)をはく  
シヤクシヨ(市役所)へ行く  
アネ(姉)が居る

と違い、浜松市の人などは、形容詞や動詞にまで  
その現象がおよび、

御飯をタベル(食べる)  
朝早くオキル(起きる)  
値段がタカイ(高い)

という非常に特徴ある言い方を身につけています。

### ◎語彙(俚言等)

方言番付などでおなじみの、その地方特有のこ  
とば(単語)を俚言と称しています。共通語にな  
い言い方だけに、各地の一般的な方言としてこれ  
を話題とすることが多くあります。

県内で広く用いられるその代表的な語の一部を  
例示してみましょう。

ヤッキリ・ミルイ・オゾイ・オーボッタイ・ヒ  
ナル・ゾングリ・オトマシー・ノンバメル・チ  
ンブリカク・マルサラ (広域)

ほかにも、東、中、西部のそれぞれを中心に用  
いられる語がいくつもあります。

ケケル・ズナイ・ハナル・ミゴトイ・ニーシー・  
アマッサイ・ガシ・ガライ・イグスリ・ヤブセッ  
タイ・ネキ (東部・中部)

ナリキ・ブソル・オヤス・ラッカイ・オソガイ・  
カコクサイ・ガトー・ケッコイ・シナベル・ヘ  
ラクタ・ヤゴイ (中部・西部)

こうした語彙の特色として、なかには、奈良、  
平安以来の古語の伝統を保つもの、あるいは共通  
語に置きかえることの不可能な独特のニュアンス  
ゆえに、消えゆくには惜しい貴重な表現も少なく

ありません。

私なんかは、たとえば「みるい」という語の感触に、なんともいえない静岡らしさをおぼえます。「みる芽」などという、お茶独特の表現が、よけいにその感を深めるのですが、これを「あの娘(こ)はまだみるい」などと、人の未熟さ、若さにも言うあたりもおもしろく、共通語にはない妙味を感じます。

高名な言語学者、金田一春彦氏は、「ミルイは共通語(標準語)の中にとり入れてみたい静岡県の代表的な方言」だと語っていますが、私もむべなるかなの思いです。

さて、こうした特徴をもった静岡県方言が、まだまだ根強く聞かれるものであることは、静岡県人なら誰でも知っており、おそらく自らも日常にこれらの表現を用いていることに気付かせられる方もあるはずです。

「明日は雨ら」「一緒に行かざー」「わりーっけ」などの言い方は、私の勤務するところの高校生でも用いている。

隣の主人が、「シヤクショへ行って届けを出いといてくりょー」と息子に頼んでいる声も聞こえてくれば、いつまでもひなってる子「もうやっきりしちゃう」とさじを投げ出すお嫁さんの姿もある。

さまざまな日常生活の場で、家族や友人、知り合い同志の気のおけない会話が交わされる。そんな時にこそ、よそゆきの言葉ではなく、生米身に付けてきたふるさとの言葉が、実にいきいきとした対話をなし、なめらかな人間関係をつくり出しているのです。

しかし、前述の国語審議会の報告にある、「(方言は)美しく豊かな言葉の一要素」とか、「地域における豊かな人間関係を担う」とかの、方言における豊かさもとても大切な要素は、それがあまりに日常的な出来事にみられるものゆえに、普段はまったく意識されることがないのです。

つまりは、私たちは、知らず知らずのうちに、方言でなければ表現できない妙味や、方言のもたらすほのぼのとした雰囲気を楽しみつつ生活しているのです。

私などが実施する方言に対するアンケートに、「方言にはあたたかみがある」と答える人が多く見られるのは、方言に対する安心感、信頼感のなせるわざのようにも思われます。

『読んでごろじ』を読んでくださった方からのお便りには、「病院で若い医者が、…ダモンデ、…ダニ、…ラなどと、年配の患者に向かって言っているのを聞いていると、ほのぼのとしたものを感じさせられます」とありました。

高齢化社会を迎える二十一世紀に、方言は意外な有効性を発揮する場を広げていくことになるかもしれません。そんなことを、ふと感じさせられるお手紙でした。

こうして、「心を和ませ、くつろがせ、あたたかみを感じさせる」方言の将来は、そう簡単に「消えゆく運命」にあるものではなさそうに思えてきた、それが『読んでごろじ』を刊行しての私の実感です。

清水市生まれの作家村松友視氏は、静岡方言のもつ独特の肌合いや、あるいは独特の言いまわしに静岡人のメンタリティーを見いだしつつ、それらをこよなく愛惜されています。

小川国夫、藤枝静男(故人)、吉田知子といった県内在住のそうそうたる作家達にも、それぞれの地元のことばづかいをふんだんに用いて構成された注目すべき作品が発表されています。それは、文学と方言のかかわりという新たな研究課題をもたらすものであり、静岡県方言の貴重な記録として後世に受け継がれていくものともなっています。

最初にも触れたように、方言はいま、社会のさまざまな分野に進出しています。

その新たな動きのひとつとして、官民こぞっての地域振興、すなわちムラおこし、マチおこし、の一環として方言が使用されはじめたこともあげられます。

各地の特産物が、「ナブラ市場」(御前崎町)、「ソースラ市場」(伊東市)、「これっしが処」(掛川市)で売られて人を集め、祭りの場を盛り上げようと、「だっくい練り」(静岡市)を練り出したり、「やら舞歌踊り」(浜松市)に市民への参加を呼びかけています。

これらは、単なる方言名の利用に過ぎないと、簡単に片付けてしまえる事柄ではありません。

そこには、地域の伝統を守り、地域の個性にもとづいてムラやマチのあり方を考える、真剣な発想とその成果がうかがえるように思えるからです。

ともかくにも、方言活用の方は、徐々にその領域を広げていることはたしかです。

私の勝手な予測で言えば、「方言はダサイ」から「方言はオシャレ」へと意識改革されていくかもしれません。共通語一辺倒よりは、方言との使い分けができる生活の方が、言語生活におけるオシャレなのだという感覚も生じてよいはずだからです。

この先、静岡県の方のゆくえを、しっかりと見守りたいと思います。

平成10年度災害緊急時対策研修会 公開講演

# 日本のエネルギー事情と原子力発電所から出る使用済燃料について ～再処理工場の建設状況について～

日本原燃株式会社 六ヶ所本部再処理事業所  
再処理建設所電気計装部長 金井 英次

私は、現在日本原燃（株）六ヶ所本部の再処理建設所で電気設備と計測制御設備の設計と工事を行っています。昨年7月に中部電力から出向し、青森の六ヶ所村において原子燃料サイクルの最前線で頑張っています。ここでは日本の六ヶ所というより、世界の六ヶ所になろうとしています。日本の原子燃料の自給自足をはかることを目標としています。

本日は、使用済燃料がどの様に処理され再び利用されるかを簡単に紹介し、原子力発電に必要な原子燃料サイクルについてのPRをさせていただくと共に、再処理工場の建設近況をお知らせしたいと思います。みなさんも青森へ来られたときは、是非六ヶ所村まで足をのばしてみてください。

## 1. 将来の地球とエネルギー

石油や石炭などの化石燃料を燃やすことによって出る二酸化炭素等が原因といわれる「地球温暖化」や「酸性雨」などの環境問題、さらに人口増加によるエネルギーの慢性的な不足など、地球規模でエネルギーを考える時期にきています。1990年代の地球人口53億人に対し77億トンのエネルギーが使われています。2050年には100億人に対して185億トンのエネルギーが必要と予想され、日本では2000年に約1兆KWh電力が必要と予想されています。

ここで、人間が生きて行くためのエネルギーは100W/人だそうです。日本人が使う全エネルギーは5KW/人（石油換算で4Kℓ/年人）で、日

本人が使う電気は1KW/人、すなわち約8000KWh/年であり、その約30%が原子力発電所（5基）で作られています。

世界のエネルギー消費量は1年間に約80億トン（石油換算）にも達しており、国別ではアメリカ・旧ソ連・中国について日本は世界4位であり、世界エネルギーの約6%を消費しています。最も多く使われているのは石油で、続いて石炭・天然ガス・原子力・水力の順です。国別でみると石油への依存度が高い国は、イタリアや日本です。

## 2. エネルギー海外依存度の高い日本

### ～脱石油をめざす～

日本は、エネルギーの海外依存度が主要先進国の中で高い数値を示しています。全エネルギーの約80%を海外に依存しており、また石油の99%を輸入しています。日本はエネルギーに関して極めて弱い体質なのです。

日本での1年間で使われるエネルギーの量は石油換算で約5億kℓだそうです。1日当たりになると約200万kℓであり霞ヶ関ビルの3倍で、国民1人当たりになると牛乳パック約10数本（約1ℓ）になります。

石油は昭和30年代より大量に安く手に入るようになり、エネルギーの中心となってきました（約80%）。しかし2回の石油ショックで価格が上昇して、原子力やLNG（液化天然ガス）の導入が積極的に進められ、平成20年代には石油の依存度を約50%まで下げる計画となっています。

### 3. 原子力発電による電源多様化

#### ～経済性～

総エネルギーの中で電力の占める割合は、平成12年（2000年）には42%程度に達すると予測されています。こうした電力を安定して供給するためには、石油代替エネルギーとして信頼性の高い原子力発電を中心とした電源多様化を進めていかなければなりません。

原子力発電は平成12年度に約4500万KWで全体の19%であり、平成22年度には約7000万KWで25%が見込まれています。この様に、原子力発電は電源多様化の中心であると思われます。原子力発電の利点は次の理由です。

わずかな燃料で大きなエネルギーが得られる。例えば、出力100万KWの発電所を1年間運転するには、石油なら約140万t、石炭なら約220万t、ウランなら約30tですみます。

原子炉は1年に1度、3～4年間使用した燃料を取り替えることで運転できます。

燃料の備蓄効果があります。

使用済燃料を再処理して新燃料を作り上げることで、準国産のエネルギー源とすることができます。

発電コストにおいても、経済的に有利です。石油火力の場合、発電コストの6割程度を占める燃料費が、価格の変動などの影響を受け易いの 비해、原子力では燃料費の割合が2割程度と小さく安定しています。（カナダ・オーストラリアなどの先進国より供給しています）

### 4. わが国の原子力の基本政策

#### ～原子力開発利用長期計画～

原子力委員会では5年ごとに「原子力の研究・開発及び利用に関する長期計画」を発表しています。最近では平成6年6月に発表されていますが、原子燃料サイクルの開発、プルトニウムの平和利用を今後とも着実に進めていくという基本路線に

は変更がない。しかしながら、平成7年8月には新型転換炉（ATR）実証炉を中止し、全炉心MOX（Mixed Oxide Fuel:ウランとプルトニウムが混在した酸化物）改良型沸騰水型炉の建設が代替計画として適切であるとの結論が出されています。

再処理をすると新たに生まれた資源であるプルトニウムが発生するわけでありますが、この利用については「余剰プルトニウムを持たないという原則を堅持」し、発電などに使うプルトニウムの量よりも余分に持たないことに加え、プルトニウム利用計画の透明性を確保することが大切です。すなわち、需要と供給のバランスを保つことが必要です。

高速増殖炉の本格運用にはまだ時間が必要であり、これに先立って軽水炉において3～6%のプルトニウムを混ぜたMOX燃料を利用することを計画しています。この技術は海外において多くの実績があり、日本でも実証試験が終了しています。これをプルサーマル計画（サーマル中性子炉でプルトニウムを燃やす）といい、2000年までには4基程度で開始し、2010年頃までに10数基にまで拡大するとしています。

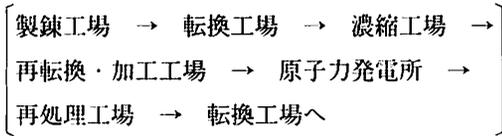
### 5. 原子燃料サイクルと使用済燃料

発電所の原子炉に装荷された新燃料は、3～4年間かかってゆっくり燃やされます。そして1年に1度の定期検査の際に、1/3～1/4が取り替えられ使用済燃料になるわけです。

使用済燃料の中には、燃え残りのウラン235が約1%・ウラン238が約95%、またウラン238が中性子を吸収して変化したプルトニウムが約1%含まれています。これらを再処理することによって、再び燃料として生まれ変わらせるわけです。しかしながら約3%の高レベルな放射性廃棄物もあるので、その処分を考えなくてはなりません。

さて、原子燃料の加工から利用・再利用の工程

の流れをたどると、原子力発電所を中心にして循環（サイクル）の輪を描くことから、一連の工程を原子燃料サイクルと呼んでいます。



## 6. 使用済燃料の再処理

六ヶ所村で建設している再処理工場の処理工程を説明します。

まず、輸送された使用済燃料を処理するまで専用プール（貯蔵容量：3000 t・U）で冷却貯蔵します。 [受入貯蔵]

次に、プールから取り出し 3～4 cm の小片に切断し、溶解槽で硝酸によって溶かし溶液とします。 [せん断・溶解]

これに、有機溶媒を加え分離設備と分配設備で、ウランとプルトニウムと核分裂生成物を分離させます。 [分離]

そして、ウラン溶液とプルトニウム溶液から、さらに微量の核分裂生成物を除去します。 [精製]

最後に、ウラン溶液とウラン・プルトニウム混合溶液から硝酸を取り除き粉末にします。 [脱硝]

UO<sub>3</sub>粉末とMOX粉末の製品を燃料加工施設に払い出されるまで貯蔵します。

再処理工場の能力は年間最大で800t・U、1日当たりでは4.8t・Uで計画していますが、これは100万KW級の発電所、約30基から取り出される使用済燃料を処理できる能力に相当しています。

## 7. わが国の再処理の現状

現在、わが国の再処理は動燃（核燃料サイクル機構）東海再処理工場 [0.7t/日] のほか、フランスとイギリスに委託しています。使用済燃料の発生量は毎年約900 t であり、ほとんど海外に依存しているのが現状であります。

## 8. 高レベル放射性廃棄物の処理・処分

再処理をすると核分裂生成物は高レベル放射性処理液（10<sup>6</sup>GBq）として出てきますが、100万KW級の燃料を処理すると年間約15 m<sup>3</sup>発生し、これを溶融ガラス（約1200℃）と混ぜて、ステンレス製の容器（キャニスター）に入れ冷却されます。

海外で再処理された後のガラス固化体は、日本へ戻され六ヶ所村の施設に一時貯蔵されています。30年程保管され表面温度を約100℃以下にします。現在、128本保管されており、10数年間で約3千数百本が戻ってくる計画であります。

## 9. 日本原燃（株）六ヶ所の

### 原子力施設の近況

下北半島の付け根にある六ヶ所村に、ウラン濃縮工場が昭和63年から工事開始され、現在1050 t S W U/年の設備が稼働しています。平成4年から低レベル放射性廃棄物埋設センターが操業し、平成7年から返還高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターが操業しています。

再処理工場の建設は平成5年にスタートし、平成15年すぎの操業開始にむけて現在工事中であります。

使用済燃料の受入貯蔵施設を優先して建設を進め、現在、試験用の使用済燃料を東電福島原子力発電所から受け入れテスト中であります。全施設の建設進捗率は20%であり、予定より少し遅れぎみです。

安全設計としては、火災・爆発・臨界・漏洩の万一の故障や事故などを想定した、「安全防止」「拡大防止」「影響緩和」の三段階の多重防護の考え方に基づいた設計としています。

耐震設計としては、原子力発電所と同じ考え方で建物・構築物及び機器の設計をしています。

航空機に対する防護設計も行っていきます。

環境安全についても、原子力発電所と同等に管理し設計しています。

## 井熊信義 会員 勲五等瑞宝章 下賜

平成10年11月3日（文化の日）に井熊信義会員（元遠州総合病院放射線技術科室長）が勲五等瑞宝章を下賜されました。  
会員一同、心よりお祝い申し上げます。

### 略 歴

昭和28年4月より遠州病院（昭和34年11月9日遠州総合病院と名称変更）に勤務、レントゲン助手として放射線業務に従事した。昭和51年4月からは放射線科（昭和56年4月1日放射線技術科と名称変更）室長として平成6年3月まで診療放射線技師のトップとして活躍した。その後、平成6年4月から現在まで浜北市矢野医院に勤務、その道一筋に43年の永きにわたり、地域医療の発展、向上に尽力した。また、静岡県放射線技師会役員として会の発展と放射線技術向上に大きく尽力した。

### 功 績

昭和28年4月遠州病院へ助手として勤務、先任者から放射線業務を伝授され、自らも参考書から知識の習得に努めた。しかし、放射線業務全般における技術の習得には専門学校で学ことが必要と、昭和30年同病院を退職。レントゲン専修学校において勉学に打ち込んだ。昭和32年4月専修学校卒業後、再び遠州病院放射線科に勤務した。当時の同病院は一般病棟222床、結核病棟51床、合計273床を有する中規模施設で技師は氏を含め3名で胸部、骨等の撮影及び悪性腫瘍の治療を行っていた。氏は、昭和32年8月診療エックス線技師免許取得と同時に技師としての第一歩を踏み出した。昭和41年10月本館第二期工事が竣工、一般病棟450床、結核病棟51床、合計501床に拡張された。昭和40年代は、放射線機器が医療の進歩に即応し、発展した時代である。氏は、常に近代化された新しい



放射線機器の導入することは、正確な診断には不可欠なものであると考え、患者ニーズに即した機器導入に大きく尽力した。昭和43年にはX線テレビ装置を導入、昭和44年には胃部用の検診車が導入され胃がん検診がはじまった。昭和45年には、外科用イメージ透視撮影装置、昭和46年には連続撮影装置、自動造影剤注入装置、シンチスキャナー等が導入された。このように科の体制も拡大、充実されたが、技師の絶対数が不足しており、処理能力は限界を越え、新設した装置を充分稼働できない状態がしばしば生じた。1日の検査予定に工夫が必要と考えた氏は、各診療科に協力を求め、午前午後検査項目を分け、技師が効率よく検査できるようにした。さらに救急医療体制における技師の当番制や細分化された放射線部門への技師の配置など山積する問題を解決するため、氏は病院当局に事情を説明し、増員要求を行った。その結果、昭和47年に3名、翌年さらに1名増員され計10名となった。これまでの実績が認められ、昭和48年4月主任に昇格した。放射線科で扱う機器装置も年々高度化し、これら新しい装置を使いこなす診療面での要求に応えるため各種研修会、学会、講習会などへ参加、放射線科内での勉強会を実施するなど部下の放射線技術向上に多大な尽力を果たした。

昭和50年4月室長代理に、昭和51年4月室長が発令され、より責任ある立場に格付けされ、氏自身も重い責任を感じたという。昭和54年4月より人間ドック業務が開始されたが当初1日8名が昭

和57年には1日16名と増加し、病院だけでは対応できず健康管理センターの建設計画が持ち上がった。氏も建設委員の一員に加わり設計、装置選定に寝食を忘れての毎日であった。昭和59年3月、立派な健康管理センターが完成、1日20名の人間ドック検査に対応した。昭和60年代にはいり東海沖地震など災害対策として自家発電装置2基が設置され、災害時でも対応できることとなった。昭和63年には検診用レントゲン自動車が2台となり地域住民の結核、がん検診が効率よく実施できるようになった。また、放射線科には、ライナック治療装置、ガンマカメラ、多軌道断層撮影装置など当時としては最新鋭の装置、機器が導入された。特に県下に先駆け循環器領域では14インチ光電子増倍管を使用したDSA装置が設置され鮮明な血管撮影が可能となった。

平成4年、MRI装置が導入され、高度化する医療に対応する放射線科となり、技師数も15名に増員された。また、氏は昭和47年4月から平成3

年3月までの19年間を厚生連看護専門学校の非常勤講師として看護婦養成の一翼を担った。

氏は、平成6年3月、後進に道を譲るために依願退職したが、遠州総合病院での38年間、常に検査技術の向上、検査体制の充実に心がけるとともに、患者の側に立った思いやりの医療を実行したことは高く評価される。また、高度で充実した医療ができるよう最新機器の導入に尽力するとともに、高度な技術を科内の技師全員が修得できるよう実践し、当病院の検査体制の発展の礎を築いた功績は大である。平成6年4月から浜北市矢野病院に勤務。63歳になってもまだ現役の気持ちで第一線放射線技師として仕事に打ち込んでいる姿は、同業の鏡であり範とすべきものである。

氏は、昭和43年4月から昭和49年までの6年間を静岡県放射線技師会理事、平成2年4月から平成6年3月までの4年間を監事として、会の発展向上に大きく貢献した。

## 叙勲の榮に浴して 井熊 信義

平成10年秋の叙勲の発令があり、11月5日県庁別館にて県知事より勲記、勲章の伝達式が行われ、11月9日厚生省において厚生大臣より祝辞を戴き、皇居春秋の間において天皇陛下に拝謁して御言葉を賜り、身の引き締まる思いと同時に叙勲の榮に浴した事が身に余る光榮と感激致しました。

これも一重に吉村会長はじめ技師会役員の皆様方並びに先輩・同僚・後輩と多数の皆様方の温かい御指導の賜物でありまして、心より感謝し厚く御礼申し上げます。

私こと、遠州総合病院に37年間在職中の平成4年4月に、脳内出血にて倒れ、3ヶ月間の入院生活を余儀なくされ、右半身の麻痺としびれの後遺

症が残り、家にてりハビリを続けながらの闘病生活を送っていた身ゆえ、勲章と云う名誉有る賞を戴けるとは思いもよらない喜ばしい事でした。

それと共に回りの人達の温かい励ましと、家内の協力を得て静岡・東京と無事行って来る事が出来ました。

また、県庁、厚生省、皇居の方々には車椅子の障害者に対しての手厚い心配りと共に、陛下より特別に御言葉をいただき良い思い出になりました。

これからは、此の勲章と皆様様の温かい気持ちを大切に病氣と闘っていこうと思いをあらたに致しました。

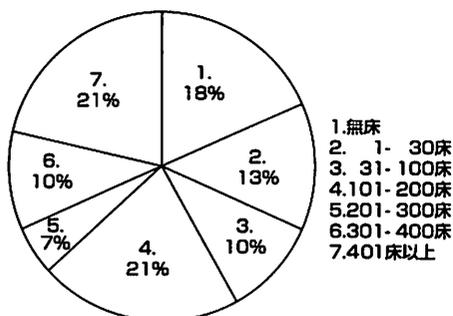
末筆ですが叙勲申請に際し、田島表彰委員長及び表彰委員の方々には、大変御苦勞をお掛け致しました。誠にありがとうございました。

(社)静岡県放射線技師会の益々の発展と会員の皆様方の御健勝を御祈り致します。

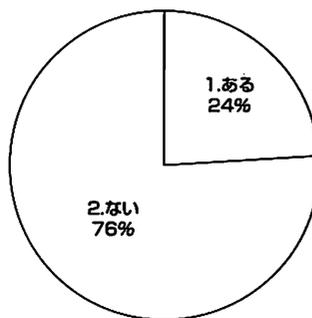
# 放射線機器固定実態調査の報告

本会が緊急時対策事業を始めてから早いもので10年が経過した。そのうち地震対策事業に関しては、放射線機器固定の啓蒙を積極的に呼び掛けてきたが、各施設それぞれの事情でなかなか実現が難しいのが現状である。そこで、各施設の機器固定に対する考え方や取り組み方の実態を調査し、今後の機器固定の推進にいかすことを目的とした。

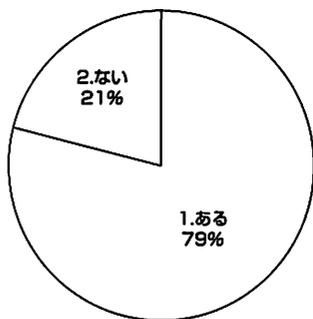
## 1. 貴施設のベット数は



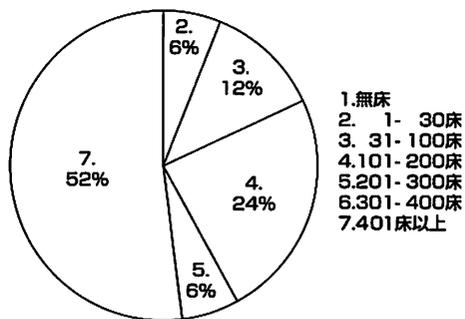
## 3. 貴施設の放射線科内の防災マニュアルは作成されていますか



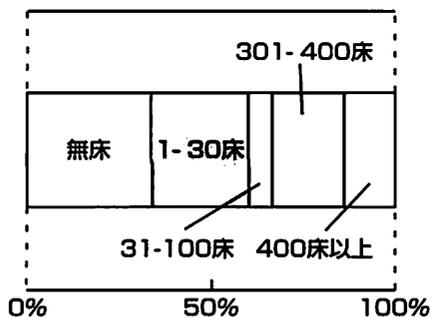
## 2. 貴施設では病院内防災マニュアルは作成されていますか



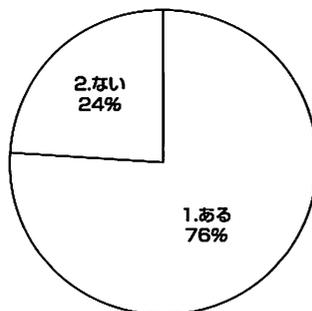
### 3-1. 「ある」と答えた施設の内訳



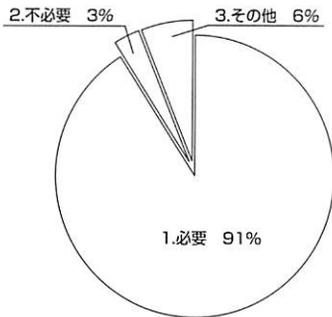
### 2-1. 「ない」と答えた施設の規模別内訳



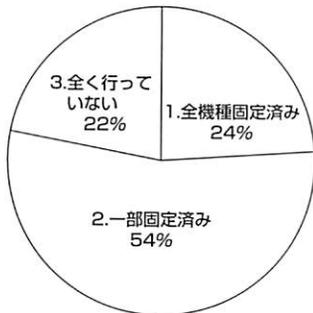
## 4. 設問3で「ある」と答えた施設で地震対策マニュアルは作成されていますか



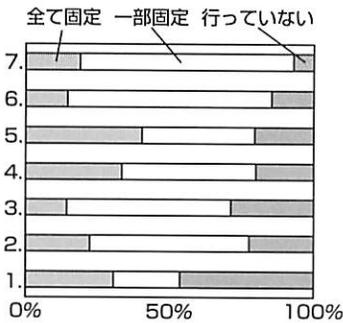
5. 固定についての考えは



6. 貴施設の機器固定の現状は



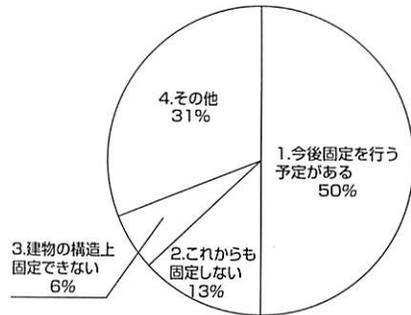
6-1. 施設規模別固定状況



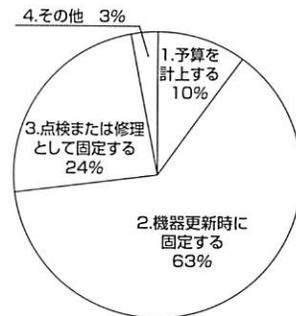
7. 機器固定の為の予算捻出方法は



8. 設問6で「2」「3」とお答えの施設



9. 設問8で「1」とお答えの施設



技師会、機器メーカー、行政機関に対する  
要望、期待すること

〔技師会に対して〕

- ・病院当局へアピールをしてほしい
- ・静岡県病院協会に御願いたように保健所にも同じ事を御願いたらい
- ・今まで以上に啓蒙していく
- ・ポスター等で会員、施設長宛に機器固定の必要性を訴える
- ・機器メーカー、行政機関に無償で固定するように交渉する
- ・広報活動を行い、行政に働きかける
- ・勉強会などで、簡単に出来る機器固定の方法を行う
- ・会誌に機器固定の実例を載せてほしい
- ・今後も調査を継続する

- どの程度の固定で良いのか知りたい
- 固定済みの施設の費用、予算額を知りたい

#### 〔機器メーカーに対して〕

- 固定の為の金具等を販売してほしい
- 機器購入時には、メンテナンスを行いやすい方法で固定してほしい
- 機器設置時には機器の固定も行うべきである  
(標準として)
- 設計段階で安全な固定を考慮していただきたい
- 機器と固定具をセットで販売する

#### 〔行政に対して〕

- 機器固定を義務付ける
- 調査、指導を行う
- 施設長に固定の通達を出してもらう
- 機器固定に対して、法的な拘束力が必要である
- 固定の経費に対して補助金を交付してほしい
- 行政指導を行うべきである

#### アンケートのまとめ

病院内防災マニュアルは79%の施設で作成されているが、放射線科内の防災マニュアルを作成されている施設は24%にとどまる。また「ない」と答えた施設で3割が301床以上の中～大規模病院であった。放射線科内防災マニュアルを作成している施設中76%が地震対策マニュアルも作成している。

機器固定について91%の施設で必要と考えているが、機器固定を全く行っていない施設が22%に達し小規模施設ほどこの割合が高い。

機器固定の予算については機器更新時が55%を占め、固定費用の捻出が難しいことをうかがわせる。

機器を一部固定または全く行っていない施設で今後行う予定がある施設が50%になる。これからも固定しないと、建設の構造上固定できないをあ

わせるると19%で機器固定が進まない現状を反映している。

(社)静岡県放射線技師会として今後機器固定を推進するにあたり何をすべきなのか、アンケート結果をふまえて考えてみると、まず各施設に対して今後も機器固定の啓蒙を行うことはむろんだが、なぜ必要なのか訴える必要も考えられた。また行政に対しては県の地震対策推進条例などを活用しながら、機器固定の経費に対する補助金の問題や、固定に対する法的拘束力などの問題を含めて交渉を行う必要があると思われた。

ただ、今回の調査で機器固定の方法が分からない施設が存在することがアンケート結果より知ることができた。このことに対して、既に会誌(Vol.3 No.1 1993)や本会発刊の「放射線技師の地震対策ハンドブック」(宮本 唯男 著 医療科学社)に実例が数多く掲載されているが、やはり今後も広く会員一人ひとりに啓蒙するには機器固定の実例集なども再度考えていく必要があろうかと思われる。また機器固定が完全実施されている施設の経緯をまとめた冊子、あるいは緊急時対策研修会などで経緯を公表していただくなど、機器固定の費用の問題も含め広報を強化する必要が考えられる。

今回の調査で機器メーカーからも近い将来、機器固定の標準化は行われるであろうという回答が得られているが、当然のこととして今後も更に技師会、行政、機器メーカーが一体となって機器固定の推進に向かって取り組む必要があることを伺い知ることができた。

社団法人 静岡県放射線技師会

# 第6回サッカーフェスティバルin静岡 東部地区初優勝を飾る!!

東部地区が、常勝軍団中部地区を3対1で破り、初めて“サッカーフェスティバルin静岡”を制覇した。

10月25日（日）、藤沢薬品株式会社富士工場グラウンドで、“第6回サッカーフェスティバルin静岡”はまさに秋晴れの絶好のサッカー日和の中行われた。当日は、県内3地区及びメーカーの4チームにより、トーナメント形式で試合が進められた。

第一試合は、目下3連覇中と優勝候補の中部地区チームとメーカーチームとの対戦となった。メーカーも善戦したが、地力に勝る中部地区が山崎選手（藤枝市立総合病院）の活躍で2対0と快勝し、6年連続決勝へとコマを進めた。

続いて行われた東部地区対西部地区の試合では、打倒中部地区に燃える東部地区が、前半に入れた1点のリードを守りきり、1対0で西部地区に競り勝った。



昼食後行われた3位決定戦では、前半西部地区が杉森選手（県西部浜松医療センター）の活躍もあり2対1とリード。後半疲れの見える西部地区は、ヤングパワー爆発のメーカーに追いつかれ3対3。誰もがPK戦かと思った後半14分、終了1分前に勝ち越しのゴールを決め、そのまま西部地

区が勝った。負けたとはいえ、メーカーチームの今大会の戦いぶりは、鈴木聖人選手（協和ME）を中心に見事であった。来年以降の台風の目になる予感がする。

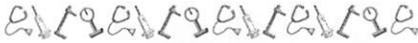
そして決勝戦は、前半5分東部地区が見事な右サイドからのロングシュートで先制し、中部地区のミスなどで前半戦を3対0で折り返す。あとが無くなった中部地区は、後半スタートから秘密兵器の小椋陽子選手（コミュニティホスピタル甲賀病院）を投入するなどメンバーを大幅に交替しリズムを変えた。しかし、東部地区の守護神GK一杉選手（沼津市立病院）の活躍もあり、一点を返すのが精一杯、見事東部地区が3対1で勝ち初優勝を飾った。これによって大優勝カップは初めて富士川を渡った。

チームのモチベーションを高め、失点を少なく、上手ぶらないサッカーで一戦一戦を丁寧に戦い抜いた東部地区は見事であった。優勝した東部地区イレブンの皆さんおめでとう!!



そして、MVPは決勝戦でファインプレーを連発した一杉選手（沼津市立病院）が選ばれた。（でも、陰のMVPは始球式に見事なシュートを放った吉村会長に贈りたい）

（総合病院 清水厚生病院 飯塚 知幸）



## 病院紹介

# 磐田市立総合病院



(所在地) 磐田市大久保512-3  
 (TEL) 0538-38-5031  
 (FAX) 0538-38-5059



### 〈はじめに〉

磐田市立総合病院は昭和21年5月陸軍病院を継承し、国民健康保険組合立磐田病院として開院しました。その後、地域人口増加や医療需要の増加、診断治療機器の高度化、専門化に対応するため、昭和27年11月磐田市国府台に病院を新築移転し、名称を「磐田市立病院」と改称しました。

昭和58年、地域住民の福祉思想の高揚を図り保健医療を向上させるため、「総合診療体制」を整備し診療科14科を標榜、病床数を332床に増床し磐南地域の基幹病院として地域医療水準の向上と健康増進に寄与してまいりました。

しかし、10数回にも及ぶ改修改築工事を重ねてその時々々の地域医療のニーズに答えてまいりましたが、敷地の狹隘や建物の老朽化と医療装置の大型化、高度化に対応できなくなり、市政50周年記念事業の一環として、平成10年5月、「正確な診断と的確な治療を提供し、地域住民の皆さまに愛され信頼される病院をめざして」磐田市大久保の地に新磐田市立総合病院として新築移転いたしました。

また、疾病の予防、早期発見、早期治療に貢献する人間ドッグや企業検診を行う「健診センター」を併設しました。

### 〈新病院の概要〉

敷地面積： 89,649㎡  
 建築面積： 9,909㎡  
 延床面積： 33,332㎡  
 許可病床数： 500床

(1人部屋70床、2人部屋30床、4人部屋400床)  
 平成10年392床、平成11年447床、平成12年500床  
 診療科：16診療科

(内科、精神科、呼吸器科、消化器科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科)

平成11年より(歯科口腔外科を開設予定)

診療圏：磐田市、豊田町、福田町、竜洋町、豊岡村の人口約16万5千人を想定。

平成10年4月～9月の診療実績

外来患者数：139,667人、1日平均：1,117人

病床利用率：85%、平均在院日数：19.5日

新病院が市中心部から北へ7km程離れ、公共交通機関も不便なため、外来患者さんの通院が不便

になり5月、6月は昨年度実績に比べ外来患者数が減少しました。

### 〈健診センターの概要〉

建築面積：1,040㎡

延床面積：1,400㎡

検診内容：1日ドッグ、国保ドッグ、脳ドッグ、企業検診。

### 〈放射線部門の概要〉

放射線診断医： 2名

診療放射線技師： 20名

看護婦： 3名

受付事務、トランスクリイパー： 5名

診療用放射線装置設置状況については表-1を参照してください。

### 〈放射線デジタル画像ファイリング〉

放射線部門での画像は原則としてすべてデジタル化して管理運用しています。

一般撮影はFCRシステムを使用して「FCR」でのネットワークシステムを構築しCR画像をデジタル画像ファイリングしています。図-1を

参照して下さい。

X線テレビの3装置はすべてDR対応とし、画像は「SimRAD」でネットワークシステムを構築し、DR画像のファイリングをしています。図-2を参照して下さい。

CT装置2台とMRIは「AIMnet」でネットワークシステムを構築し、CT、MR画像のファイリングを行っています。図-3を参照して下さい。

磐田市立総合病院での診療情報はすべて各科管理になっています。

放射線部門での患者情報や過去画像の検索には不便ですし、経過観察や治療効果の判定、各種放射線画像検査や読影診断に不都合をきたす恐れがあります。

各科管理の弊害を除き、放射線診断医が効率的に正確な画像診断を行うために、放射線画像はすべて放射線科で管理運用できるシステムを構築しました。

読影室に一般撮影（CR画像）、X線テレビ（DR画像）、CT、MRI画像がそれぞれデジタル画像ファイリングされ、各ファイリングシステム専用の観察モニターでいつでも観察可能な状況になっています。

特に過去画像との比較読影が必要なCT、MR画像については画像診断のための高精細4面モニター（VR-Report）と3次元再構成ワークステーション（Silhouette）が設置してあります。

### 〈地域医療の充実〉

地域医療の充実、向上をめざして、放射線画像診断システムを広く地域医療に解放し、地域の診療施設の患者さんに必要なCT、MRI検査を受け付けています。

診療施設、開業医に受診した患者さんにCT、MRI等の画像診断が必要となるとき、磐田市立病院放射線科に患者さんを紹介していただき、放射線科医が問診し、必要な画像診断検査を行った後、画像に診断レポートを添付し診療施設、開業医にお返しします。

地域の診療施設や浜松医科大学とISDN回線でネットワークを構築し、遠隔医療画像通信を行い、高額医療機器の有効利用と効率的な診断治療による患者サービス、地域医療水準の向上に貢献しようと考えています。

### 〈地域完結型医療の推進〉

新病院に移行するに当たり地域内完結型の基幹

病院として機能、役割を果たすため新たに核医学診療と放射線治療を開設しました。

特に磐田市立総合病院の看板としてRADIONICS社製「脳定位放射線治療システム」（X-Knife）を導入し今秋から稼働を予定し準備、研修を進めています。

脳内の腫瘍、動静脈奇形等の放射線治療に威力を発揮するものと期待しています。

今後は導入された装置を有効に使いこなして依頼医の要求に応え、患者さんに満足し信頼していただける放射線検査、画像診断を行い地域医療の向上に貢献してまいります。

### 〈病院における放射線技師〉

病院における放射線技師の待遇改善については放射線技師長として最も力を入れて取り組まなくてはならない問題だと考えています。地方自治体病院の診療放射線技師の平均定員数は病床数100床当たり3.0弱です。

私は病院長に「100床当たり5人下さい。」とお願いしています。

「正確で、的確な治療に結びついた画像診断を行い、患者さんに満足していただくためには、優秀な診断装置と有能な放射線科医、放射線技師の技術力とマンパワーが不可欠です。」

「画像診断の適応のある患者さんは予約検査ではなく、即日画像診断が可能な環境（必要な装置と放射線技師数）を整えて下さい。」と重ねてお願いしています。

病院経営も冬の時代を向かえました。自治体病院といえども赤字経営は許されず、不採算は医療サービスの低下と職場環境や待遇の悪化を招きます。職員ひとり一人が病院経営状況を把握し、診療業務の効率的かつ効果的な運用に心がけなくてはなりません。私は磐田市立病院の診療放射線技師に、

1. 病院内での診療放射線技師の評価を向上させる。
2. 他施設の診療放射線技師からの評価を向上させる。

「ふたつを満足させる努力をしましょう」と言っています。

与えられた業務をこなすばかりでなく、自分が病院にとって有用な人材になる努力をし、最適な医療画像を提供し患者サービスに努め放射線診療業務が病院経営に大きなメリットを与え病院の健全経営に貢献することにより放射線技師の待遇が向上するものと考えます。

磐田市立総合病院「診療用放射線装置」設置状況

No.	メーカー	型 式	設置場所
1	東芝メディカル	KXO 80G	一般撮影室 (1)
2	富士メディカル	FCR9501、9502、3000HQシステム	一般撮影室 (2)
3	東芝メディカル	KXO 80G	一般撮影室 (3)
4	東芝メディカル	KXO 80G FCR9501HQ	胸部撮影室 (10)
5	東芝メディカル	KXO 80G FCR3000HQシステム	救急一般撮影室
6	東芝メディカル	TSX 012A X-Vigor/LAUDATOR、CT-PORT、X-Tension	CT室 (5)
7	東芝メディカル	TSX 002A X-Vision/REAL	救急CT室
8	島津製作所	XUD150B-30 DigitexPRO-RF+UROVision、SimRAD、SRV-2H	X線TV室 (6)
9	島津製作所	XUD150B-30 DigitexPRO-Multi+C-Vision	X線TV室 (15)
10	島津製作所	XUD150B-30 DigitexPRO-RF+SHIMAVISION-3500	X線TV室 (17)
11	シーメンス	MAMMOMAT2	軟線撮影室 (11)
12	シーメンス	COROSKOP T.O.P	心臓血管撮影室 (8)
13	東芝メディカル	KXO 80C DFP-2000A	頭腹部血管撮影室 (18)
14	OEC DIASONICS	Series9000 C Arm THERASONIC	結石破碎室 (7)
15	HOLOGIC	QDR-4500A	骨塩定量測定室 (12)
16	日立メディコ	シリウス12HP	ポータブル (1)
17	日立メディコ	シリウス12HP	ポータブル (2)
18	日立メディコ	シリウス100K	ポータブル (OP室)
19	島津製作所	XUD150L-30 DigitexPRO-RF+SHIMAVISION-MX、SimRAD、SRV-2H	健診センター (胃部)
20	島津製作所 コニカ	UD150B-30 REGIUS-330システム	健診センター (胸部)
21	日立メディコ	MBR-1520A-2	血液照射室 (薬剤部)
22	シーメンス	MEVATRON/KD2	放射線治療リニアック室
23	シーメンス	ガンマカメラ E-CAM	R1検査室
24	GE横河	SIGNA HORIZON LX AdvantageWindows	MRI室

表-1

磐田市立総合病院 画像ネットワークシステム図

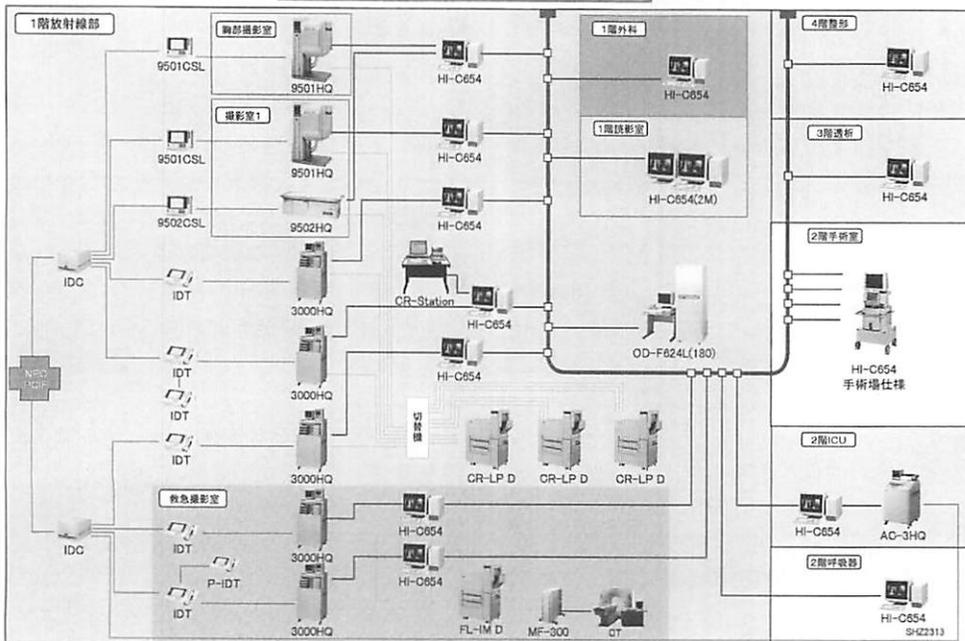


図-1

# 磐田市立総合病院 システム構成図

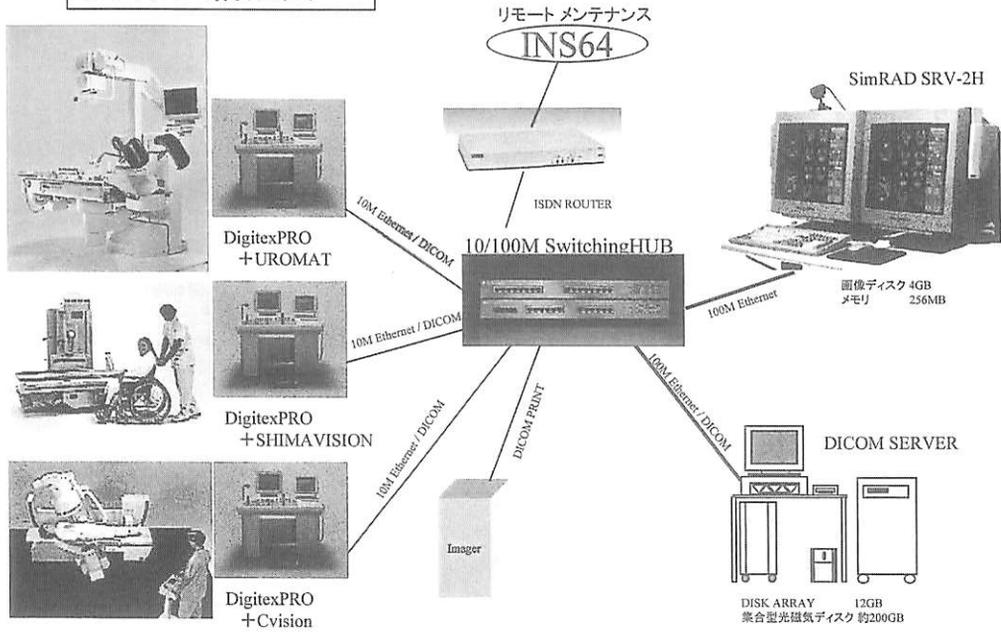


図-2

# CT・MR・NM系ネットワーク

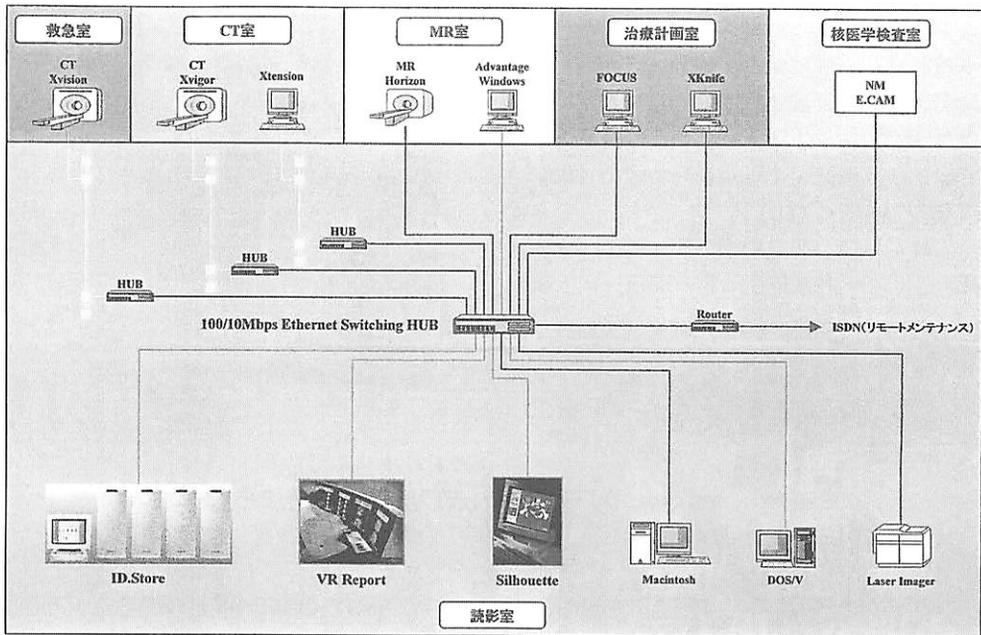


図-3

フリートーク

# 君にも、見え~る、ウルトラの星



(財) 田方保健医療対策協会附属病院 秋山 洋

## 恐ろしいかな、飲んだ勢い!

身長163cm・体重85kgこれが6年前の私である。どう見ても、デブとしか言いようがないこんな私が、ナナント、葦山町駅伝大会の選手に選ばれてしまったのです。

6年前の12月24日、街はクリスマス一色に染まっていた夜、友人と居酒屋で一杯やっているとき「秋山さん、駅伝のメンバーが一人足りないんです。走ってくれませんか？」と声をかけられました。声の主は、見覚えのある町の体育委員さんでした。……「いやー、無理ですよ」と最初は断ったものの、そこは酔っぱらいの弱点、最後には「遅くても良いなら走りますよ」と引き受けてしまう始末……

## 後の後悔先に立たず。

翌日、激しい頭痛と吐き気に加えて「しまった、またやったか」と飲ん兵衛特有の、後悔・こうかい・コウカイ…

しかし、OKしてしまったらしかたがない。駅伝大会までおよそ1ヶ月、練習に明け暮れる毎日。

そして大会当日、4位でもらった襦を9位まで下げ(予想通り)で無事完走、終わってからの慰労会では大活躍(これも予想通り)して翌年の参加も引き受けてしまう始末。

そして翌日も、後悔・こうかい・コウカイ…

## みんなで走れば怖くない?

それから数ヶ月後、病院内の上司・同僚・部下 etc. を引き込んで「田方RC F-limit's」なる



ランニングクラブを結成。『みんなで走れば怖くない』とばかりに、静岡県はもとより、山梨・長野・神奈川・東京と、近隣のマラソン大会荒らしを始め、距離も3・5・10・20kmと上昇、体重は85kgから68kgと下降、マラソンフリーク(バカ?)と化して来ました。

## 飲んだ勢いPart 2

クラブを結成して2年後、ある大会の帰りに一杯やっているとき「秋山さん、マラソンをやるからにはフルマラソンをやらなければ!」と走友にそそのかされ、「そうだな、ハーフ以上はマラソンで、それ以下はロードレースだからな」とうんちくを唱えながらも、「やって見るか」……

そしてまた、後悔・こうかい・コウカイ…

## フルマラソンは通過点、めざせウルトラマン

初めてのフルマラソンは、なんとか制限時間内にゴール。それから5回目のフルマラソンでやっと余裕の完走!



走り終わって一杯の席で、またもや前出の走友が「秋山さん、次はウルトラですね」とそそのかす始末。しかし、この時は待ってましたとばかりに「当然!めざ

せウルトラマンだよ」と即答。飲んだ勢いPart 3はありませんでした。

## 走り出したら止まらない!

平成10年4月25日、98'チャレンジ ウルトラランニング in 富士五湖のスタートに立ちました。めざすは、制限時間11時間の富士五湖を巡る全行程80km、そして夢にまで見たウルトラマン!

午前8:00、号砲の音とともにスタート!

フリートーク

# BASKET BALL

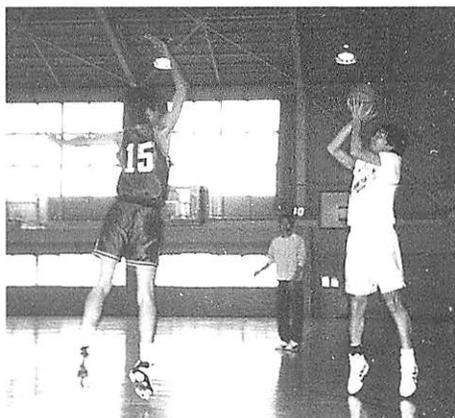
社会保険桜ヶ丘総合病院

森田 光博

今年長野オリンピック、日本が初めて出場したサッカーのフランスワールドカップ、メジャーリーグでの1シーズンホームラン最多記録、横浜ベイスターズの38年振り優勝などスポーツ界では大きな出来事がいろいろとあり、トップレベルのゲームをテレビで観ることができました。自分でも体を動かすことが好きなので、今までにサッカー、野球、バスケットボール、バレーボール、テニス、スキー、スノーボードなどいろいろなスポーツに手を出して来ました。特にバスケットボールが一番はまっています。

バスケットボールと僕との出逢いは高校生の時でした。当時、週刊誌に連載されていたバスケマンガ《SLAM DANK》という作品、その頃から衛星放送ではアメリカプロバスケットボール《NBA》の放送が盛んになり、それらを観ているうちにバスケットボールに興味を持つようになりました。そんな時、友人に「バスケ部に入ろう」と声をかけられ、バスケットボールを始めるようになりました。もともと体力があるほうではなく、バスケットボールは初心者で身長も170cmなく、高校の厳しい練習についていくのが大変でした。しかし、すばらしい先生や先輩、友人達のおかげで卒業する頃にはなんとか人並みにプレーすることができるようになり、バスケットボールのおかげかどうか分かりませんが身長も180cmぐらいになりました。(本当はあと3cmぐらいほしいのですが・・・)

高校を卒業し、技師学校に入ってから3年間は技師になるために勉強？を頑張っていて、バスケットボールから離れていましたが、静岡に帰って来て地元で活動しているクラブチームに入りバスケ



トボールを続けています。僕の入ったチームは、僕のような20代の若者から、上は自分の親ぐらいの年齢の大ベテランの人達と一緒に週2回練習をして、年数回ある試合で1勝を目指しています。

チームに入ったばかりの頃は、体がなまっていて練習や試合の次の日はいつも筋肉痛と戦いながら仕事をしていたけれど、今ではそのようなこともなくなりました。また、学生時代に不規則な生活で太りぎみだった体もバスケットボールのおかげで少しスリムになりました。

バスケットボールは意外と激しいスポーツなので、この先何年できるかわかりませんが、できるだけ長い間バスケットボールを続けていけるようケガには気をつけてやっていきたいです。



## ツーリングを通して・・・

佐々木 哲也

私は、普通2輪免許（旧2輪免許の中型限定免許）を取得してから2年ほどになります。その間に、排気量400ccのバイクを買い、長野県方面を中心にいろいろな場所へツーリングをしてきました。今の時期では、紅葉や温泉・春は桜・夏は避暑するために山などへ行くことが多いです。

昨年の夏に、富士山を見に行きに行きました。出発する前日にテレビで“ダイヤモンド富士”が見られるということを知って、行って見に行こうと決めました。日の出の時間から逆算して午前2時に自宅を出ることに決め出発しました。無事日の出の時間の前に目的地の田貫湖に到着しました。田貫湖を中心に、富士山に対して反対側に人が大勢いました。車が駐車場からあふれかえっていました。使い捨てカメラを持っている人や、本格的に写真を撮りに来て日の出を、いまかいまと待っている人がいたり、はしゃぎまわっている子もいました。そして、富士山の山頂から太陽が出てくると、一斉にシャッターが切られはじめました。下の写真はその時に撮ったものです。その後、富士山の表口登山道（富士スカイライン）から新5合目までバイクで登ってそこでゆっくりとして、東名高速道路を通過して帰りました。

その帰りのPAで面識のない方が声をかけてき

ました。話してみると、昔バイクに乗っていた方だそうです。バイクに乗り始めて、休憩場所で面識のない方と話し込む機会が多くなりました。話題はバイクのことや、旅行の話が多いです。走行中でも、こんにちは・元気にバイクに乗っているかい・よいご旅行を！などの意味を込めて、対向車のライダーにピースサインや手で挨拶をします。その様な挨拶をされるとうれしいですね。このあいだ夫婦らしき方が幸せそうにツーリングを楽しんでいるのを見かけました。

ツーリングに出かけるときはやはり、暑いか寒いか、雨が降るか降らないか、道路がアイスバーンにならないかどうか、霧は出るかどうか等が気になりますね。バイクの場合、ライダーの体は、外部にさらされているために、直接に影響してきます。よって、なるべく快適なツーリングをするためにその対策は重要です。

時々、目的の場所よりも遠くへ行くことがあります。少し疲れたとしても、おそらくその向こうにより多く新しい経験に出会えることの挑戦、あるいはそのことを楽しみにしているからではないでしょうか。

今度のツーリングは何に出会えるのだろうか、楽しみです。





# 『コスモス役員会から皆様へ』

コスモス委員長 殿岡 ひとみ

夏の暑さが残る9月26日、遅いスタートではありますが今年度初の役員会を開きました。仕事の都合などで出席できない方もいましたが、4名が出席し「コスモス」のこれからについて話し合いました。

「コスモス」をもっと多くの人にわかっていたくために、活動の目的となるテーマを考えました。役員一同頭を悩ませて考え「女性技師の情報交換と親睦を深める」とテーマを決め、そのための「コスモス」であるようがんばっていきたいと思います。

今回のこの誌面もいつもとは違って役員会の報告に使わせてもらったのも、このページを情報の交換や提供の場とするためです。

今回は、簡単に役員を紹介をさせていただきます。

委員長 殿岡ひとみ（東部・自宅）

現在仕事をしていないのに大役を引き受け悪戦苦闘中です。年齢の割に経験の少ないのが悩みです。趣味はフリーマーケットと通信販売で、最近インターネットもはじめました。

勝呂節子（東部・徳倉整形外科）

趣味は山登りとビーズでアクセサリーを作る事です。アルバイトであちらこちらの病院をまわる忙しい毎日ですが、時間を作っては趣味にいそしんでいます。

井上令子（中部・静岡医療福祉センター）

一人勤務なのでのんびりできても、なかなか休みが取れないのが少々不満に思うことです。

趣味は読書。マンガから小説まで幅広いレパートリーを誇ります。

瀬戸千晶（中部・清水市立病院）

趣味はウィンドサーフィンと海外旅行です。特にヨーロッパにはまっています。もっと勉強していろんな仕事をしてみたいと思っています。

高藤衣佐子（西部・聖隷健康診断センター）

比較的、女性技師の多い職場です。趣味は旅行と保健気功です。気功で風邪もひかない丈夫な体をつくり、多忙な業務をこなしています。

加藤厚子（西部・県西部浜松医療センター）

職場には女性技師の先輩がいないのでこれから先の結婚や妊娠の事を考えると不安に思う事もあります。趣味は音楽鑑賞です。

以上の6名が、来年度までの「コスモス」の役員としてがんばります。少しは私たちの事がわかりましたでしょうか。顔写真も載せればもっと親しみを持っていただけるかも知れませんが、皆シャイな性格なのでそれだけはお許し下さい。

同じ女性技師と言ってもそれぞれいろいろな悩みを抱えています。一人では解決つかない事でも皆で考えればその糸口が見つかるかも知れません。だから多くの人に「コスモス」に参加してほしいのです。

# メッセージボード



## 東部地区

### ◎経過報告

- 9月12日 第2回放射線セミナー  
三島市民文化会館 54名参加
- 9月30日 第4回幹事会
- ・県技師会報告(三井田副会長)  
常任理事報告・50周年記念事業  
災害緊急時対策研修会
  - ・身障者無料検診について
  - ・第3回放射線セミナー・第1回胃がん検診従事者講習会について
  - ・サッカーフェスティバル in 静岡について
  - ・その他
- 10月2日 議事録(第4回幹事会)等の発送
- 10月4日 身障者無料検診  
(財)田方保健医療対策協会 17名受診
- 10月27日 地区だより(Vol.5) 発刊
- 10月25日 サッカーフェスティバル in 静岡  
25名参加
- 11月18日 第5回幹事会
- ・県技師会報告(三井田副会長)
  - ・県事業(障害者無料検診、サッカー)報告
  - ・第3回放射線セミナー・第1回胃がん検診従事者講習会について
  - ・第2回胃がん検診従事者講習会・東部地区総会について
  - ・東部地区総会提出議案について
  - ・その他
- 11月20日 議事録(第5回幹事会)等の発送
- 11月28日 第3回放射線セミナー  
サイクルスポーツセンター  
サイテル内研修室 47名参加
- 11月29日 第1回胃がん検診従事者講習会  
サイクルスポーツセンター  
サイテル内研修室 34名参加

### ◎行事予定

- 1月20日 第6回幹事会
- 3月13日 第2回胃がん検診従事者講習会  
東部地区総会  
菫山町文化センター 映像ホール

## 中部地区

### ◎経過報告

- 9月20日 身障者の方への「胃及び超音波」の無料検診 胃透視13名、超音波検査20名  
(静岡市・ふれあい広場)
- 9月26日 第2回放射線セミナー及び第1回胃がん検診従事者講習会 75名参加  
(日興会館)
- ・「異文化間のコミュニケーション」  
東海大講師  
グレゴリ・オーダウト先生
  - ・胃X線撮影  
(今これだけは知っておきたい!)  
日本消化器集団検診学会東海北陸  
支部技師部会  
会長 馬場健碩先生
- 10月15日 「身障者無料検診」第4回会合
- 10月19日 第4回編集委員会
- 10月20日 中部地区会NEWS秋号発行
- 10月25日 サッカーフェスティバルin静岡
- 11月5日 第5回編集委員会
- 11月11日 第4回幹事会
- ・第3回放射線セミナーについて
  - ・中部地区会ボーリング大会について
  - ・その他
- 11月21日 第3回放射線セミナー  
(静岡市・メディアシティ)  
「私と超音波との出会いから今へ・  
そしてこれから」  
藤枝市立総合病院 超音波科 科長  
杉山 高先生
- 「スポーツは楽しい、苦しい!？」  
清水エスパルス チームドクター  
福岡重雄先生
- 11月28日 中部地区会第2回レクリエーション  
ボーリング大会  
(静岡市・ポウルアピア)

### ◎行事予定

- 平成11年
- 1月 中部地区会NEWS冬号発行
- 2月17日 第5回幹事会
- 3月7日 中部地区会総会及び第2回胃がん検診  
従事者講習会(静岡県もくせい会館)

## 西部地区

### ◎経過報告

- 8月31日 第3回勉強委員会
- ・第1回勉強会について(役割分担)
  - ・第2回勉強会について(内容)
- 9月7日 第6回幹事会
- ・県技師会経過報告
  - ・各委員会報告
- 9月26日 第1回勉強会・第2回放射線セミナー  
58名参加(浜松名鉄ホテル)
- ・「胃-主に基本の解剖から-」  
大垣市民病院 放射線科  
遠藤斗紀雄先生
  - ・「ヨード造影剤の禁忌のメカニズム」  
第一製薬名古屋支店 医薬学術部  
加藤 誓先生
- ・特別講演  
「スパイラルテープの  
概要について」  
スパイラルテーピング協会  
田中 信孝先生
- 10月12日 第7回幹事会
- ・各委員会報告
  - ・身障者の「胃部無料検診」について
- 11月9日 第8回幹事会
- ・各委員会報告
  - ・身障者の「胃部無料検診」について
  - ・総会について
- 11月20日 第3回レクリエーション  
ボーリング大会
- 12月12日 第2回勉強会
- 12月14日 第9回幹事会
- ◎行事予定
- 1月18日 第10回幹事会
- 2月8日 第11回幹事会
- 3月6日 西部地区総会

## 「50年史」は お手元に届きましたか？

県技師会では12月初旬、50年史を皆様の職場、ご自宅に発送いたしました。まだ届いていない会員にはお詫び申し上げますと共に、ご面倒でも事務所まで電話、またはFAXにてご連絡くださいますようお願い申し上げます。

なお、50周年記念式典、講演会、祝賀会に参加された会員は、すでにお渡ししてありますので除かせていただきました。

また、勤務されていて会誌等自宅送付となっている会員も、今回に限り勤務先に発送させていただきましたのでご了承ください。

## お知らせ

### 第8回MRI部会研修会開催について

【日時】平成11年3月20日(土)  
14:00~17:00

【会場】サンパレスホテル(静岡市)

【主催】(社)静岡県放射線技師会 MRI部会  
第一製薬株式会社

【参加費】500円

【内容】1 共催メーカー講演

2 特別講演

「脳脊髄神経系の

細かな正常解剖と

異常所見について」

(仮題 講師:未定)

3 写真展示

※詳細決定次第再度お知らせ致します。

## 訂正とお詫び

50年史の308ページ 35年勤続表彰者名の表の第12回通常総会の中上から3番目の氏名に誤りがありました。この紙面でお詫びすると共に下記のように訂正致します。申し訳ありませんでした。

村松 犹通 → 村松 鈺通

# 本 会 の 歩 み

(平成10年8月28日～平成10年11月26日)

- 8/29 第1回表彰委員会(技師会事務所)  
田島・高田・加藤・吉村
- 9/2 第9回編集委員会(技師会事務所)  
森・三輪・名越・奥川
- 9/5 第2回理事会(総合社会福祉会館)  
吉村・三井田・庄・大石・伊藤・森・東山・奥川・  
八木・塩津・青島・小林・服部・山田・桑沢・  
飯塚・増井・浅野・倉田・白鳥・田島・杉山・  
殿岡ひ・殿岡正
- 9/8 第2回放射線技師の役割実践委員会  
(技師会事務所)  
殿岡・桑沢・大原・杉田・東山・大木・太田・  
浅野・吉村
- 9/9 第10回編集委員会(技師会事務所)  
森・大木・三輪・名越・奥川・近藤
- 9/10 第10回常任理事会(技師会事務所)  
吉村・三井田・大石・伊藤・森・前田・東山・  
奥川・八木・塩津・青島
- 9/14 第3回50周年記念事業実行委員会  
(技師会事務所)  
吉村・大石・三井田・庄・田島・八木・奥川・  
東山・森・小林・伊藤
- 9/16 発送作業(技師会事務所)  
八木・奥川・森・吉村
- 9/22 第11回編集委員会(技師会事務所)  
森・大木・三輪・名越・大村・奥川・近藤
- 9/22 発送作業(技師会事務所)  
八木
- 9/24 第11回常任理事会(技師会事務所)  
吉村・三井田・庄・大石・伊藤・森・前田・東山・  
奥川・塩津・青島
- 9/26 第1回コスモス役員会(技師会事務所)  
殿岡・井上・高藤・加藤・東山
- 9/29 第1回企画委員会(技師会事務所)  
桑沢・大原・飯塚・永井・増井・窪野・伊藤・  
吉村
- 10/3 第7回MRI部会研修会(もくせい会館)  
石津・菊池・中道・川瀬・戸塚・篠田・高木・  
伊藤
- 10/7 第12回編集委員会(技師会事務所)  
森・大木・三輪・大村・奥川・近藤
- 10/8 第4回50周年記念事業実行委員会  
(技師会事務所)
- 吉村・大石・三井田・庄・田島・八木・奥川・  
東山・森・小林・宮本・前田・白鳥・伊藤・塩津・  
青島
- 10/14 第5回50周年記念事業実行委員会  
(技師会事務所)  
吉村・大石・三井田・庄・田島・八木・奥川・  
東山・森・小林・宮本・前田・白鳥・伊藤・青島
- 10/17 創立50周年記念式典(ホテルアソシア静岡ターミナル)  
吉村・三井田・庄・大石・伊藤・森・前田・東山・  
奥川・八木・塩津・青島・大木・桑沢・飯塚・  
増井・杉山・殿岡正・山田・服部・殿岡ひ・井上  
白鳥・浅野・田島・加藤・早坂・大見・中瀬
- 10/20 第1回職制委員会(技師会事務所)  
白鳥・望月・御園生・八木
- 10/21 未納会費請求(技師会事務所)  
森・奥川・八木・塩津
- 10/22 第12回常任理事会(技師会事務所)  
吉村・三井田・庄・大石・伊藤・森・前田・奥川・  
八木・青島
- 11/4 第3回MRI部会役員会(技師会事務所)  
石津・菊池・中道・川瀬・戸塚・篠田・高木
- 11/4 第13回常任理事会(もくせい会館)  
吉村・三井田・庄・伊藤・森・前田・奥川・八木・  
塩津・青島
- 11/5 第2回職制委員会(技師会事務所)  
白鳥・高田・望月・御園生
- 11/6 中間監査(技師会事務所)  
服部・山田・庄・東山・吉村
- 11/7 第14回超音波部会研修会(もくせい会館)  
杉山・滝口・遠藤・安池・西尾・山本・奥川・  
秋山・伊吹・北川・望月・牛場・児玉
- 11/12 平成11年度予算作成(技師会事務所)  
庄・東山
- 11/20 第3回放射線技師の役割実践委員会  
(技師会事務所)  
殿岡・大原・杉田・東山・大木・太田・吉村
- 11/25 第13回編集委員会(技師会事務所)  
森・大木・三輪・名越・大村・近藤
- 11/26 第14回常任理事会(技師会事務所)  
吉村・三井田・庄・大石・伊藤・森・前田・奥川・  
八木・塩津・青島

# 本会への寄贈図書

(平成10年9月3日～平成10年12月9日)

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| 9 / 3 第1222号静岡県医師会報                    | 10/27 岐阜県放射線技師会雑誌第51巻通号87号          |
| 9 / 5 (社)北海道放射線技師会会報 '98年No.3          | 11 / 2 第1126号静岡県医師会報                |
| 9 / 7 日本放射線技師会雑誌第45巻第9号                | 京放技ニュース11/1998 (通算462号)             |
| 9 / 10 平成10年度東海北陸放射線技師学術大会抄録集          | 大放技会報10月号No. 126                    |
| 9 / 14 鹿児島県放射線技師会ニュース 号外 1998.9.7      | 11 / 4 埼玉放射線第143号                   |
| 9 / 17 第1223号静岡県医師会報                   | 東京放射線第45巻第11号                       |
| 9 / 18 ニュースとちぎ No.69 1998.9            | (社)新潟県放射線技師会会報No. 49                |
| 9 / 21 MEDICAL NOW Autumn1998 No.36    | 兵放技ニュースSchaukasten No. 178          |
| 9 / 30 大放技会報 9月号 No.125                | 11 / 5 福島放技ニュース第52号                 |
| 10 / 2 第1224号静岡県医師会報                   | 11 / 6 コンベンションしずおか1998 AUTUMN No.35 |
| (社)兵庫県放射線技師会第10回学術大会・第9回医用画像学術講演会予稿集   | 日本放射線技師会雑誌第45巻第11号                  |
| 兵放技ニュースSchaukastenNo. 177              | 11 / 9 躍進静岡第28号 静岡県広報課              |
| 10 / 5 静岡保険医新聞 第175号                   | INFOMATION第40号・第41号                 |
| RADコダックX-レイだより 51号 ('98秋号)             | (社)茨城県放射線技師会                        |
| 東京放射線第45巻第10号                          | 11 / 10 ニュースとちぎNo. 70 1998.11       |
| 京放技ニュース10/1998 (通算461号)                | 11 / 16 山形県放射線技師会だより第52号            |
| 10 / 6 放射線やまぐち 第163号                   | 熊本放射線第163号                          |
| 10 / 8 神奈川放射線Vol.51 No.3 Sep. (No.156) | 11 / 18 第1227号静岡県医師会報               |
| 福岡県放射線技師会誌 第234号                       | 11 / 25 月刊新医療12月号第25巻第12号           |
| 10 / 12 日本放射線技師会雑誌第45巻第10号             | 11 / 30 京放技ニュース12/1998 (通算463号)     |
| 広放技News Letter 1998 No.30              | 大放技会報11月号NO. 127                    |
| 10 / 14 生涯学習情報誌マナビットだよりNo.54           | 12 / 1 社団法人兵庫県放射線技師会50周年記念誌         |
| 10 / 16 第1225静岡県医師会報                   | WAVE 時代の中で                          |
| 社団法人栃木県放射線技師会会誌No. 79                  | 12 / 2 東京放射線第45巻第12号                |
| 10 / 20 すこやか大陸4号                       | 12 / 3 第1228号静岡県医師会報                |
| 秋放技ニュースLATITUDE 40N 2 (通刊42)           | KART神奈川放射線Vol.51 No.4 Nov           |
| 会報第88号 (社)鹿児島県放射線技師会                   | 放射線やまぐち第164号                        |
| 10 / 23 社団法人宮城県放射線技師会会報第34号            | 12 / 4 兵放技ニュースSchaukasten No. 179   |
| 放射線技師のための医療被曝マニュアル                     | 12 / 8 日本放射線技師会雑誌第45巻第12号           |
| 社団法人宮城県放射線技師会                          |                                     |
| 10 / 26 静岡県グラフ広報誌 ふじのくに'98秋 54号        |                                     |

# 会 員 動 静

(平成10年9月3日～平成10年12月10日)

【新入会】

中部 嶋崎 龍洋 共立蒲原総合病院  
 西部 鈴木 元 天竜すずかけ病院  
 西部 佐藤由紀子 西村整形外科

【転出】

中部 荒井 一義 新潟県へ  
 中部 弘中 譲 愛知県へ

【退会】

東部 稲垣 伸一 富士市立中央病院  
 東部 白岩 伍郎 自宅  
 中部 大石 勝也 医療法人社団駿佑会秋元医院  
 中部 川村 弘志 藤枝平成記念病院

【勤務移動】 (新勤務先)

東部 齋藤 務 御殿場市保健センター  
 中部 河合恵理子 退職

中部 鷲頭 徹 退職

【ご結婚おめでとうございます】

東部 高橋 則和 順天堂伊豆長岡病院  
 東部 田沢 範康 聖隷沼津病院  
 東部 玉田 宏一 富士宮市立病院  
 中部 河合 秀紀 清水市立病院  
 中部 味元 雅幸 榛原総合病院  
 西部 中村 文俊 県西部浜松医療センター

会員数	886名
東部	240名
中部	324名
西部	322名 (平成10年12月10日現在)

## 謹 賀 新 年

1999年元旦

本年もどうぞよろしくお願ひします。

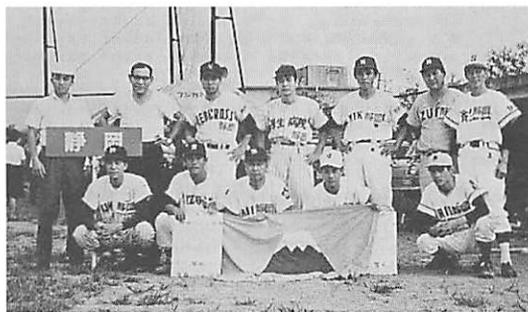
会 長	吉村 正己	常任理事	八木 秀祝	理 事	桑沢 啓治
副 会 長	三井田基善		塩津 敏之		飯塚 知幸
	庄 賢治		東山 誠三		増井 成充
	大石 雄史		森 佳久		浅野愉喜夫
監 事	山田 豊		奥川 令		倉田 富雄
	服部 義男		伊藤 生也	幹 事	青島 芳仁
事 務 員	石川美代子		前田光一郎		

静岡県放射線技師会創立50周年記念

# 写真で綴る静岡県放射線技師会50年の歩み



創立時準備總會（昭和23年 静岡厚生病院）  
32名の有志により日本放射線技術学会東海支部静岡地方会を発足。初代会長には川島作太郎を選任。



東海四県親善野球大会 準優勝（昭和42年）  
8回開催され、静岡県チームは優勝5回を誇った。



富士フィルム足柄工場見学（昭和34年9月24日）



講義5分前の模擬試験風景



受講風景

第1回診療放射線技師受験資格取得講習会  
（昭和43年12月22日～昭和44年2月26日）



静岡県エックス線技師会創立15周年記念  
（昭和39年1月2日）



静岡県放射線技師会創立25周年記念式典  
（昭和48年9月9日 クーポール会館）



静岡県放射線技師会創立35周年記念式典  
(昭和58年 日興会館)



中村会長が全国学術大会（静岡大会）  
事前調査のため本会事務所訪問（昭和63年）



事務所取得  
昭和62年12月18日



第40回静岡県放射線技師会総会  
(昭和62年4月24日)

小林会長から宮本体制へパトントッチ。



全国放射線技師総合学術大会静岡大会  
(平成2年10月18日～21日 静岡市民文化会館)



平成3年度全国統一講習会

(平成3年6月2日～7月7日)

昭和61年には診療放射線技師卒後教育講習会(9/6～12/7)を開催。平成元年には3地区において全国統一講習会(8/27～1/26)を開催し、平成3年には9月29日から11月3日まで臨床実習指導者講習会が開催された。



平成4年度緊急時対策研修会《地震対策編》

(平成4年7月18日 県地震防災センター)

全国初の起震車による放射線機器振動転倒試験。



社団法人認可書の交付(平成3年12月26日)

全会員が一丸となり学術大会を成功させたことが社団法人認可の大きな力となった。



第10回(社)静岡県放射線技師会通常総会

第1回静岡県放射線技師学術大会

(平成8年6月22日～23日 焼津ホテル)

今年度より吉村第8代会長が就任。



法人化設立記念式典(平成4年1月15日)

この式典を境に技師会は新時代に入った。



顕彰碑

現在の技師会の発展を担ってきた物故会員に献花を捧げる宮本前会長。

## 平成10年度 第3回理事会 報告

平成10年12月5日(土)午後2時より5時まで静岡県総合社会福祉会館、6階第3会議室にて、第3回理事会が28名の出席を得て開催された。

議事録署名人 塩津理事 東山理事

議事は大石副会長の司会により、吉村会長の挨拶に続き各報告事項から議事が進められた。

### 1. 会長報告

- ・ I S R T 世界大会大成功の内に無事に終わった
- ・ 静岡市ふれあい広場にて身障者の無料検診が中部地区の主催で行われた
- ・ 目の不自由な方の無料検診が東部地区の主催で行われた
- ・ 創立50周年記念行事が無事に終わった
- ・ 井熊会員が叙勲を受けた
- ・ 愛知県放射線技師会が法人化10周年記念行事を行った
- ・ 専門学校卒業者の学士取得への道が開きつつある

### 2. 協議事項

- ①肺がん講習会について
  - ・ 平成11年1月9日(土)
  - ・ 静岡県医師会館5階大ホールにて行う
  - ・ 「肺癌検診のX線写真の読影上の注意事項」と題して講演がある
- ②技師長等管理者研修会について
  - ・ 平成11年1月21日(木)
  - ・ もくせい会館第2会議室にて行う
  - ・ 多数の出席者を望む
- ③第40回東海四県放射線技師合同研究会について
  - ・ 平成11年2月21日(日)
  - ・ 名古屋国際会議場にて行う
- ④第15回超音波部会について
  - ・ 平成11年2月20日(土)

- ・ もくせい会館1階富士の間
  - ・ 急性疾患について行う
- ⑤第8回MR部会について
    - ・ 平成11年3月20日(土)
    - ・ サンパレスホテルにて行う
  - ⑥第15回通常総会について
    - ・ 2月に総会議案集を配布し、返信はがきにて承認を得る書面採決の予定
  - ⑦地区総会について
    - ・ 東部 3月13日 予定
    - ・ 中部 3月6日 もくせい会館で予定
    - ・ 西部 3月6日 商工会議所で予定
  - ⑧平成11年度事業計画案について
  - ⑨平成11年度事業予算案について
    - ・ ⑧⑨計画案、予算案の提出
    - ・ 第4回理事会にて承認の予定
  - ⑩平成11年度第16回県通常総会について
    - ・ 平成11年5月29日
    - ・ 藤枝エミナースにて
  - ⑪第4回学術大会について
    - ・ 平成11年5月29,30日
    - ・ 藤枝エミナースにて
  - ⑫平成11年度東海北陸地域放射線技師研修会について
    - ・ 平成11年7月3,4日
    - ・ 富山県にて
  - ⑬その他
    - ・ \*生涯教育記録手帳を配布している県があるが
      - ・ 個々の生涯教育のポイントは県技師会に問い合わせれば知らせているので、今のところ県技師会としては生涯教育記録手帳は考えていない
    - ・ \*アンケートの返送にファックスを使っているが
      - ・ 特に異議なし

以上の協議事項は全員の挙手により承認された。次回、平成10年度第4回理事会の開催は平成11年2月6日(土)を予定している。

# 新入会員・転入会員紹介

瀧  
澤  
昌  
丈



【生年月日】 昭和50年1月7日  
 【出身地】 静岡県浜北市  
 【出身校】 東海医療技術専門学校  
 【勤務施設】 慶應義塾大学月ヶ瀬リハビリテーションセンター  
 【趣味】 スポーツ  
 【抱負】 自分を研く。

鈴  
木  
吉  
信



【生年月日】 昭和46年3月5日  
 【出身地】 静岡県藤枝市  
 【出身校】 城西医療技術専門学校  
 【勤務施設】 藤枝平成記念病院  
 【趣味】 多彩  
 【抱負】 信頼される人でありたい。

深  
澤  
公  
雄



【生年月日】 昭和49年3月28日  
 【出身地】 静岡県藤枝市  
 【出身校】 東海医療技術専門学校  
 【勤務施設】 藤枝平成記念病院  
 【趣味】 カラオケ  
 【抱負】 常に前向きな気持ちで頑張っていきたいです。

鈴  
木  
啓  
洋



【生年月日】 昭和50年11月1日  
 【出身地】 志太郡大井川町  
 【出身校】 川崎医療技術短期大学  
 【勤務施設】 聖隷予防検診センター（H11.2まで）  
 焼津市立総合病院（H11.4から）  
 【趣味】 サッカー  
 【抱負】 一日でも早く満足できる仕事がしたい。  
 そして毎日が楽しいと思えるようがんばりたい。

# 新入会員・転入会員紹介

井上和康



【生年月日】 昭和45年11月21日  
 【出身地】 静岡県掛川市  
 【前任地】 帝京大学医学部附属病院  
 【勤務施設】 磐田市立総合病院  
 【趣味】 ゴルフ  
 【抱負】 向上心を持って仕事に取り組む。

鈴木元



【生年月日】 昭和51年4月30日  
 【出身地】 静岡県天竜市  
 【出身校】 岐阜医療技術短期大学  
 【勤務施設】 天竜すずかけ病院  
 【趣味】 バレーボール、スキー  
 【抱負】 誰からも信頼される技師になりたい。

村松真也



【生年月日】 昭和52年3月7日  
 【出身地】 静岡県浜松市  
 【出身校】 東海医療技術専門学校  
 【勤務施設】 浜松赤十字病院  
 【趣味】 映画鑑賞  
 【抱負】 向上心を忘れずにいつまでも努力していきたいと思いを。

猿田忠司



【生年月日】 昭和50年11月1日  
 【出身地】 静岡県引佐郡引佐町  
 【出身校】 鈴鹿医療科学技術大学  
 【勤務施設】 浜松赤十字病院  
 【趣味】 ドライブ  
 【抱負】 技師として知識を深めるとともに患者さんから信頼されるようになりたい。

# 新入会員・転入会員紹介

廣瀬愛



【生年月日】 昭和50年 2月15日  
 【出身地】 岐阜県不破郡垂井町  
 【出身校】 名古屋大学医療技術短期大学  
 【勤務施設】 聖隷三方原病院  
 【趣味】 音楽鑑賞  
 【抱負】 信頼される技師になれるように頑張っていきたいと思います。

松岡千秋



【生年月日】 昭和45年 8月12日  
 【出身地】 愛知県犬山市  
 【出身校】 岐阜医療技術短期大学  
 【勤務施設】 聖隷三方原病院  
 【趣味】 ビデオ・テレビ鑑賞  
 【抱負】 初心を忘れず、時代に遅れないよう、常に多くの情報を吸収したい。

市川篤史



【生年月日】 昭和40年 4月28日  
 【出身地】 愛知県  
 【出身校】 東海医療技術専門学校  
 【勤務施設】 国立浜松病院  
 【趣味】 野球（スポーツ各種）  
 【抱負】 より高度な放射線部門における知識の習得と実践での活用に生かせればよいと思います。

土屋裕一郎



【生年月日】 昭和49年12月18日  
 【出身地】 静岡県浜松市  
 【出身校】 藤田保健衛生大学  
 【勤務施設】 協立十全病院  
 【趣味】 格闘技、バイクツーリング、映画鑑賞  
 【抱負】 仕事？ がんばるぞ!!  
 勉強？ あったりまえ!!  
 遊び？ ちょっとだけね♥

# わが家のシンちゃん紹介

今回は袋井市民病院の佐々木さんと土井さんのお子さんを紹介してもらいました。

## 佐々木さんちの宏海（ひろみ）くん

金メダルをもらってご機嫌なひろみくんです。ついこの間まで、よちよち歩きでかわいかったひろみですが、もう年長さんになってしまい、早くランドセルを買ってと、本人は小学生気分……。

リレーに出て、スタートとアンカーで走って2人をごぼう抜き。鼻高々でした。（金メダルは全員もらえるんですけどネ……）

将来は何になるの？と尋ねると、「サッカー選手になってお父さんをジュピロスタジアムに招待してあげるからね。」と、自信満々で答えてくれます。

とっても楽しみにしている私は親馬鹿でしょうか？



## 土井良高さんちの李紗（りさ）ちゃんと聡倫（あきのり）くんと啓嗣（よしつぐ）くん

子供をダシに、自分の人生を楽しんでいる親バカ！？父さんを紹介します。

我が家では、七才の長女李紗（りさ）、6才の長男聡倫（あきのり）、4才の次男啓嗣（よしつぐ）とそれぞれ個性豊かで、父さんそっくりな元気な子供達が自慢です。

しかし、それ以上の自慢は、アトピーのある我が子のために、25年のローンで木造の家を建て直してくれた父さん、これだけだで大変なのですが子供のためにと、年4回東京ディズニーランドへ出かけ、一番うれしそうな父さん。

夏は祭りだ！花火大会だ！キャンプだ！と子供の先頭に行く父さん。もちろん冬は、父さんの第二の人生とも言えるスキーを楽しむため、子供をスクールへ入れ、自分のスキーを満悦しています。



のぞみ500系、大好きな子供達に乗りたい？乗りたい？と聞いている父さんが、実は一番乗りたがっている。500系を見た時、乗る時の顔は子供が4人の様でした。

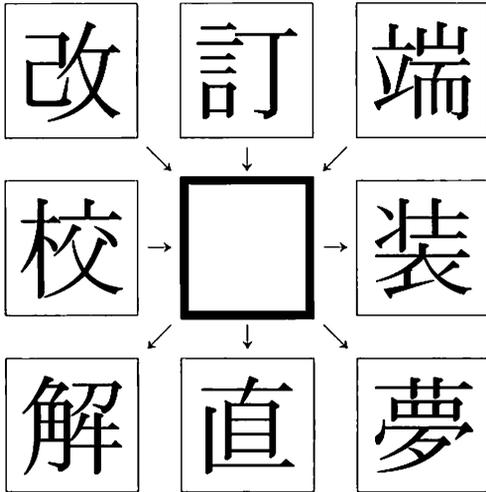
ウルトラシリーズも、必ず録画してくれる。子供の楽しみは、自分の楽しみ！を実行している我家の33才良高父さんの親バカ！？紹介でした。



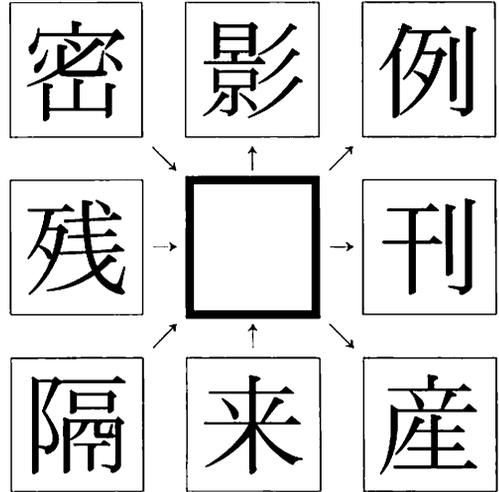
# 頭の体操

◎ □ に漢字 1 文字入れて 8 つの熟語をつくりなさい

もんだい 1



もんだい 2



前回の解答

もんだい 1 紅 もんだい 2 葉

## 応募方法

葉書に解答及び住所、氏名、施設名を明記の上、(社)静岡県放射線技師会編集委員会宛にお送り下さい。正解者の中から抽選で 5 名様に素敵な景品をさし上げます。

なお、当選者の発表と解答は次号に掲載します。

締切は 平成11年 2 月20日 (土) 消印有効

※※ふるってご応募ください※※

応募の正解者の内、以下の方が当選されました。

おめでとうございます。

前回の当選者

片瀬 和夫 (焼津市立総合病院)

北川 敬康 (藤枝市立総合病院 超音波科)

中村 寛次 (焼津市立総合病院)

(敬称略)

# 行事予定カレンダー（平成11年1月～3月）

	1 月		2 月		3 月	
1	Ⓜ		月		月	
2	土		火		火	
3	Ⓟ		水		水	17回編集委員会
4	月		木		木	
5	火		金		金	↑
6	水		土		土	中部地区総会 西部地区総会
7	木	第16回編集委員会	Ⓟ		Ⓟ	↓ 日放技単位認定研修
8	金		月	西部地区第11回幹事会	月	画像機器工学
9	土	肺がん検診従事者講習会	火		火	[解明・CRのハードとソフト]
10	Ⓟ		水		水	第18回編集委員会
11	月		Ⓟ	↑	木	第22回常任理事会
12	火		金	第20回常任理事会	金	
13	水		土	日放技単位認定研修	土	東部地区総会
14	木	第18回常任理事会	Ⓟ	↓ 放射線管理学	Ⓟ	
15	Ⓜ	↑ 日放技講習会	月	[放射線管理責任者	月	
16	土	国家試験受験	火	認定講習会]	火	
17	Ⓟ	対策講習会	水	中部地区第5回幹事会	水	第19回編集委員会
18	月		木		木	
19	火		金		金	
20	水	東部地区第6回幹事会	土	第15回超音波部会研修会	土	第8回MRI部会研修会
21	木	技師長等管理者研修会	Ⓟ	東海四県合同研究会	Ⓟ	
22	金		月		Ⓟ	
23	土		火		火	
24	Ⓟ	↓	水		水	
25	月		木	第21回常任理事会	木	第23回常任理事会
26	火		金	↑ 日放技単位認定研修	金	
27	水		土	医用画像技術学	土	
28	木	第19回常任理事会	Ⓟ	↓ [下腹部(泌尿器・	Ⓟ	
29	金	↑ 日放技単位認定研修		産婦人科領域)]	月	
30	土	医用画像技術学			火	
31	Ⓟ	↓ [乳腺]			水	第20回編集委員会

# 編集後記

- \*新年あけましておめでとうございます。皆様のご協力により50周年記念事業も成功裡に終えることができました。本年もさらなる飛躍を目指し会員一丸となって頑張りましょう。 (森)
- \*寒い冬がやってきました。今年是不景気で我が家も例外に漏れず懐具合が寂しく、寒さが身にしみる冬となりそうです。・・・・・・・・・・もう少しボーナスをくれよ～ (奥川)
- \*急に寒くなってきますと体調を崩す人が増えてきます。今年こそは、風邪をひかない様に寒くても外に出て体を動かしたいと思っています。適度にスポーツをして……。でも外は寒い。 (三輪)
- \*1998年は家族に入院する者あり、何やかんや慌ただしい年でした。1999年は平和な年になるといいのにな。だけど、本当に1999年は7月で終わってしまうのかな～?!。 (大村)
- \*今回は、50年史の特別講演(しずおかの方言と生活)をワープロ打ちに担当になり、入力しているうちに静岡の東、中、西部によって区切られる方言があると知って、興味をひかれました。皆さんも読んで見たら、地元のおもしろみも出ると思います。 (名越)
- \*やっと編集委員会の流れが理解出来たところで、文面を直したりはとてできませんが、何とか頑張っていきたいと思います。 (近藤)
- \*あけましておめでとうございます。旧年中は静岡ジャーナルをご愛読いただきありがとうございます。今後も会員の皆様楽しんでいただける紙面を考えて行きたいと思います。今度ともよろしくお願いたします。 (大木)

会誌「しずおかジャーナル」Vol.8 No.3 1999

平成11年1月1日発行

発行所 : 〒420-0839 静岡市鷹匠2丁目3-2 サンシティ鷹匠601号  
社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 吉村正己

編集者 : 森佳久

印刷所 : 〒420-0876 静岡市平和一丁目2-11

(株)六幸堂 Tel (054) 254-1188

## 事務所案内

執務時間：月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで。 TEL (054) 251-5954

執務時間外は、留守番電話にてお受けいたします。 FAX (054) 251-9690